

# ①災害の記録

平成30年3月



## 災害の記録

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況その他
1	1921 (大 10) 9.26	台風 風水害	死者 3 人 浸水家屋 3,000 戸	雨量 150~300mm 嶺南に雨量が多い
2	1930 (昭 5) 7.8~12	水害	死傷、行方不明 5 人 住家全壊、浸水 2,500 戸 堤防決壊、破損 15ヶ所	雨量 300~500mm (奥越)
3	1933 (昭 8) 7.25~26	台風 風水害	住家 (全壊 15、流出 3、床上・床 下浸水 2,454 戸) 田畑浸水 3,500 町	雨量 福井 302mm 大野 172mm 敦賀 109mm
4	1934 (昭 9) 9.21	室戸台風 風害	死者 8 人、行方不明 7 人 負傷者 14 人 家屋 (全・半壊 375 戸、浸水 566 戸) 船舶 (流出・沈没) 58 隻	
5	1939 (昭 14) 6 月 ~ 8 月	干害	5 月~9 月の降水量は記録的に 少なく稲作植付不能面積 710 反 被害面積 51,400 反	
6	1939 (昭 14) 12.4	山くずれ	丹生郡五太子山地 1 万坪がくず れ死者 14 人	
7	1940 (昭 15) 1.27~28	大雪	1 月 25 日~2 月 9 日までに、死 者 4 人、負傷者 10 人 建物被害 104 件	最深積雪 福井 191cm 敦賀 127cm
8	1948 (昭 23) 6.28 16時13分	福井地震	死者 3,728 人 負傷者 21,750 人 建物 (全壊 35,382 戸、半壊 10,542 戸、焼失 3,851 戸)	九頭竜川中流域を中心とする震度 6 規模 M : 7.1 の大地震で越前平野は大 災害となった。
9	1950 (昭 25) 9.3~4	ジェーン台風 風害	死者 14 人、負傷者 556 人 行方不明 1 人 建物 (全壊 684 戸、半壊 4,306 戸) 船舶 (沈没 63、流出 53 隻)	台風は大阪湾から北上、舞鶴市の東方 から若狭湾に抜け、能登半島沖に進ん だ。 雨量は奥越山間部で 100~150mm、その 他は少なく 50mm 前後であったが、大 風害で最大風速は明治 30 年福井地方 气象台創立以来の記録 最大風速 福井 30.9m/s 南 敦賀 30.4m/s 南東 最大瞬間風速 福井 40.7m/s 南 敦賀 38.4m/s 南東

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
10	1953 (昭28) 7. 2~8	梅雨前線 水害 山くずれ	死者 2人 建物(全壊4戸、半壊14戸、床上浸水3,757戸、非住家損壊3戸) 田流出 8町 田冠水 4,855町 畑冠水 418町 道路損壊 40ヶ所 橋梁破損 15ヶ所 堤防 21ヶ所 山(がけ)くずれ 51ヶ所	本州南方海上にあった梅雨前線が北上し、本州付近に停滞するとともに、台風第4号から変わった低気圧が通ったため大雨となり、奥越地方 300~400mm で最も多く、その他は 200~300mm であった。
11	1953 (昭28) 9. 22~26	13号台風前線 風水害	死者 116人 負傷者 639人 行方不明 21人 建物 全壊 328戸 半壊 527戸 流出 296戸 一部損壊 1,713戸 床上浸水 11,513戸 床下浸水 18,410戸 水田流埋没 2,899戸 道路損壊 980ヶ所 橋梁流失 764町 堤防破損 737ヶ所 山(がけ)くずれ 1,447件	台風は紀伊半島から伊勢湾、愛知県を通過して、中部山岳部を北東進した。台風の前面に停滞した前線が活動して大雨となり、次いで台風自体の暴風雨となり甚大な被害を与えた。県下の雨量は全般に 200~300mm で、とくに小浜市中名田で 700mm に達し、若狭地方は明治9年以来の大出水といわれている。
12	1954 (昭29) 9. 26	洞爺丸台風 風害	負傷者 2人 建物 全壊 10戸 半壊 2戸 一部損壊 634戸 非住家損壊 67戸	台風は山陰地方から日本海に出て、能登半島沖を東北進し、北日本では洞爺丸の沈没、岩内町の大火など大きな被害を出した。県下では雨量は少なく、南よりの風が強かった。 最大風速 福井 22.5m/s 南 敦賀 23.2m/s 南南東 最大瞬間風速 福井 32.0m/s 南 敦賀 33.9m/s 南南東
13	1956 (昭31) 4. 23	フェーン現象 芦原大火	全焼 309戸 半焼 17戸 死者 1人 重傷 4人 軽傷 345人 建物焼失延 21,969坪 損害 50億8,825万円 山林焼失 33反	数日前から高温乾燥の日が続き、南高北低の気圧配置で、南よりの風が強く、フェーン現象となった。
14	1959 (昭34) 1. 17~19	冬型気圧配置 雪害	死者 2人 負傷者 4人 機業場倒壊 4件 作業所倒壊 6戸 人害、倉庫損害 8件 国鉄ダイヤみだれ、私鉄一時運休	1月16日から18日山間部 70~100cm、平野部は 30~50cm の降雪があり、20日には山間部で 200~300cm、嶺北平野部 120~130cm、嶺南地方 30~60cm の積雪となった。福井では昭和22年以来、大野では昭和18年以来の大雪となり、家屋、工場の倒壊で死傷者を出した。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
15	1959 (昭34) 8.12~14	台風第7号と 前線風水害	死者 5人 負傷者 6人 家屋 全壊 15戸 半壊 23戸 流出 18戸 一部破損 26戸 床上浸水 5,401戸 床下浸水 11,328戸 田流埋没 279ha 田冠水 7,040ha 道路損壊 386ヶ所 橋梁流失 162ヶ所 堤防損壊 173ヶ所 山(がけ)くずれ 174ヶ所	12日おそくから前線が活動し、嶺北山 間部で豪雨が起り、13日午後から嶺 南地方も大雨となった。台風は14日 朝駿河湾に入り、富士山付近を通り、 北上した。総雨量は山間部と小浜市付 近で400mm、その他は200~300mmに達 した。 昭和28年台風第13号以来大水害で あった。
16	1959 (昭34) 9.26~27	伊勢湾台風 風水害	死者 25人 負傷者 6人 行方不明 9人 家屋 全壊 70戸 半壊 167戸 流出 41戸 床上浸水 1,796戸 床下浸水 5,775戸 水田流出 428ha 冠水 4,117ha 道路損壊 329ヶ所 橋梁流失 116ヶ所 堤防損壊 301ヶ所 木材流出 5,707m <sup>3</sup> 船舶(沈没11、流出4、破損11、 その他47隻)	台風は大野郡と岐阜県の境を通り、白 山の東側から富山県に抜けた。 台風前面の前線で奥越山間部や若狭 地方の山間部で強雨があり、台風通過 時に嶺北山間部では2時間雨量104mm (大谷)に達する豪雨があった。 九頭竜川中角では、既往最高水位 10.38mを測り、大野郡和泉村では鉄 砲水となり一瞬にして20数名が流死 した。 総雨量は若狭の西部山間部で350mm、 嶺北山間部200~300mm。 最大瞬間風速 福井 25.2m/s 北北東 敦賀 29.9m/s 北北西 大野 16.2m/s 東
17	1960 (昭35) 8.29~30	台風第16号と 前線風水害	負傷者 3人 行方不明 2人 家屋 全壊 6戸 半壊 2戸 流出 2戸 床上浸水 9戸 床下浸水 100戸 田畑 流出 31ha 冠水 96ha 道路損壊 43ヶ所 橋梁流失 29ヶ所 堤防損壊 20ヶ所 山(がけ)くずれ 10ヶ所 木材流出 1,400m <sup>3</sup>	台風は高知市に上陸し、鳥取市の西か ら29日19時すぎ日本海に入った。 その頃南よりの風が最も強かった。雨 は前線の南下によるもので、大野郡和 泉村では30日朝方1時間雨量50mm前 後の記録的集中豪雨で孤立状態とな り、この地方では伊勢湾台風と同じ程 度の最高雨量となった。 総雨量は山間部で300~500mm、嶺南地 方や嶺北の平野部で100~200mmとな り、各河川は警戒水位を突破し、上流 で決壊はらんした。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
18	1961 (昭36) 8.19 14時33分	北美濃地震	死者 1人 負傷者 15人 建物 全壊 12戸 半壊 2戸 その他 7戸 道路損壊 111ヶ所 がけくずれ 94ヶ所	福井の震度6 M:7.2 震源地は福井、岐阜および石川の県境で、山間部地帯であったので人畜等の被害は幸い少なく、全部で死者7人、生埋め4人、負傷者40数人であった。8月31日までには有感、無感203回の地震を観測した。
19	1961 (昭36) 9.15~16	第2室戸台風風水害	負傷者 72人 建物 全壊 95戸 半壊 357戸 流出 18戸 床上浸水 1,540戸 床下浸水 4,291戸 水田 流出埋没 358ha 冠水 3,811ha 道路損壊 285ヶ所 橋梁流失 125ヶ所 堤防損壊 85ヶ所 山(がけ)くずれ 107ヶ所 木材流出 2,463m <sup>3</sup>	福井、敦賀では明治30年気象台開設以来の最低気圧を観測する。台風は小浜市の東方から若狭湾に出て、再び嶺北地方を南北に縦断して北上した。台風前面の前線活動による大雨、台風通過時の雨と風の強い吹き返しが特徴的で、総雨量は奥越山間部で400~500mm、その他の平野部で100~200mmであった。 最大瞬間風速 福井 35.5m/s 北西 敦賀 41.9m/s 北 大野 26.3m/s 西北西
20	1963 (昭38) 3.27	越前岬沖地震	人的被害なし 建物 全壊 2戸、半壊 2戸 非住家全壊 3戸、半壊 2戸 山崩れ1、土砂崩れ3	震度5 M:6.9 震源地 若狭湾沖 敦賀湾・若狭湾沿岸沿いの約50kmにわたって小被害
21	1963 (昭38) 12.30 ~ 2.初	38.1.豪雪 風雪害	死者 25人 負傷者 48人 建物 全壊 623棟 半壊(一部破損を含む) 69,653棟 床上浸水 323棟 床下浸水 2,665棟 田、畑(物・埋・冠) 183ha 道路破損 373ヶ所 橋梁破損 106ヶ所 船舶破損 65隻 国鉄不通状態 ほぼ1週間 私鉄不通状態 ほぼ1ヶ月 勝山市横倉でなだれが発生、14棟、4世帯、19人が生埋めとなった。 美山町箆谷でなだれが発生、下校中の先生、生徒9人が生埋めとなり4人が死亡	1月初旬、日本海の低気圧が異常に発達し日本に冷たい空気が流れ込みやすくなった。 1月中旬、異常に発達した低気圧が日本海でほとんど停滞し、嶺北山間部で100~150cmとなった。1月下旬、一時小康状態を保ったが、その後さらに降り続き、1月31日には、福井213cm、大野287cm、敦賀148cmとなり、観測以来の大雪といわれた。 この記録的な大雪も2月初旬にはようやく峠をこし、2~3回10~20cmの降雪があった。 尚、38.1豪雪の10大特徴をあげれば、 (1)100年来の大雪 (2)月平均気圧は最低 (3)大雪の連続で降雪期間が長い (4)猛吹雪 (5)月降水量は最多 (6)寒気が波状に襲来 (7)1月中の日照時間は日照時の8% (8)ずれた降雪時のピーク (9)海上は大シケ続き (10)南ないし西風が卓越した。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
22	1964 (昭39) 7.8~9	梅雨前線 山陰・北陸豪 雨	死者 1人 負傷者 3人 建物 半壊 71戸 床上浸水 2,122戸 床下浸水 4,419戸 田畑冠水 9,447ha 道路破損 280ヶ所 橋梁破損 38ヶ所 堤防破損 631ヶ所	梅雨前線が本州付近に停滞し、39.7.8 ~18までの間、石川県より島根県まで 大損害をうけた。
23	1965 (昭40) 5.20 15時45分 ~ 19時30分	小倉谷大火	重傷 2人 軽傷 6人 全焼 39世帯 64棟 151人 半焼 3世帯 7棟 12人 被害額 60,122万円	異常乾燥およびフェーン現象による 10m/s位の風により、ワラ屋根に飛び 火し大火になった。
24	1965 (昭40) 9.10~18	40.9三大 風水害	死者 33人 負傷者 205人 建物 全壊(非住家を含む) 1,012戸 半壊(非住家を含む) 1,448戸 床上浸水 3,257戸 床下浸水 12,683戸 道路決壊 1,260ヶ所 橋梁流失 257ヶ所 堤防決壊 1,045ヶ所 被害総額 35,104,000千円 (内訳) 台風第23号 堤防決壊 886ヶ所 被害総額 16,302,000千円 死者 3人 負傷者 90人 建物 全壊(非住家を含む) 478戸 半壊(非住家を含む) 784戸 床下浸水 11戸 道路決壊 50ヶ所 橋梁流失 4ヶ所 堤防決壊 5ヶ所 被害総額 3,178,000千円 堤防決壊 154ヶ所 被害総額 15,624,000千円 奥越豪雨 死者 11人 負傷者 24人 建物 全壊(非住家を含む) 370戸	昭和40年9月2日、グアム島付近に 発生した台風第23号は、発達しなが ら北上し、10日高知県安芸市に上陸、 その後瀬戸内海から近畿地方を突走 り、中心気圧960mbに最大風速40m/s の速度で昼過ぎ若狭湾に出る進路に 当たった本県では各地に烈風による 被害が発生した。 その応急復旧に努めていたところ、日 本の南の海上にあった前線が活発と なり、福井県地方に集中豪雨をもたら した。雨量は14日から15日までの約 36時間において福井地方気象台創設 以来未曾有の1,044mmを記録した。こ のため、真名川、九頭竜の各所で決壊 し、特に西谷村全域は破壊的打撃を受 けた。 さらに、沖縄の南に停滞していた台風 第24号は、9月17日渥美半島に上陸 し、中部地方内陸部を北東に進んだ。 それにより県下各地は烈しい雨が降 り、特に嶺南地方の各河川の堤防決壊 やはらんが続出した。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
24			半壊（非住家を含む） 201戸 床上浸水 701戸 床下浸水 2,836戸 道路決壊 509ヶ所 橋梁流失 91ヶ所 台風第24号 死者 19人 負傷者 91人 建物 全壊（非住家を含む） 164戸 半壊（非住家を含む） 463戸 床上浸水 2,556戸 床下浸水 9,836戸 道路決壊 701ヶ所 橋梁流失 162ヶ所 堤防決壊 886ヶ所 被害総額 16,302,000千円	
25	1967 （昭42） 1. 2 ～ 2. 25	冬型気圧配置 雪害	死者 1人 負傷者 1人 学校の休校 70校 国、私鉄のダイヤがみだれ、一時 運休	1月中旬に4年ぶりの大雪となり、敦 賀市付近と山沿いでとくに降雪があ り、 今庄 124cm 敦賀 84cm 2月には今庄を中心としてドカ雪と なり、積雪195cmとなる。
26	1967 （昭42） 12月 ～ 1968 （昭43） 2月	冬型気圧配置 43・豪雪	死者 3人 負傷者 6人 建物 全半壊 17棟 道路交通関係被害 243,000千円 農林関係被害 709,290千円 商工関係被害 1,017,820千円 その他被害 125,112千円 市町村災害対策本部設置状況 8市町村 国、私鉄のダイヤはみだれ、郊外 バスも運休 被害総額 2,103,337千円	42.12.28 から冬型の気圧配置が強ま り、38年豪雪とほとんど変わらない山 雪型豪雪となった。この気圧配置は、 小康ののち、1月31日から再び強ま り、 福井 112cm 敦賀 84cm 大野 216cm 勝山北谷 363cm の豪雪をもたらした。このため、家屋 の倒壊、農作物等の被害が続出した。
27	1969 （昭44） 1月 ～ 2月	冬型気圧配置 雪害	負傷者 5人 建物 一部破損 28戸 床上浸水 19戸 床下浸水 162戸 公共土木施設損壊 41ヶ所 農作物被害 45ha その他 4ヶ所 被害総額 241,151千円	1月は前半が顕著な冬型気圧配置と なり、山沿い地方で150cm、山間部で 200cmの積雪があり、中旬以降は、嶺 南地方で20～40cmの降雪をみた。
28	1969 （昭44） 3. 19	青化ソーダー 流出事故	中毒者（軽度） 10人 飲料水の被害戸数 490戸 水田被害 30a	金津町中川地系、国道8号線上におい て、青化ソーダー満載のタンクロー リー車の交通事故により、約2,000l の毒物が流出、周辺住宅の飲料水に青 酸反応が認められ、8日間飲料水の使 用を禁止する。



番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
29	1971 (昭46) 6.25	山くずれ	死者 6人 罹災世帯 1戸	6月25日未明(午前1時ごろ)小浜市金屋の万徳寺裏山の南端が高さ80m、巾120m、深さ10mにわたって突然くずれ、約4万㎡の土砂が内藤三郎氏の木造平屋建「離れ」を押しつぶし6人が死亡した。
30	1971 (昭46) 7.12~18	梅雨前線	死者 1人 全壊 1戸 床上浸水 20戸 床下浸水 93戸 罹災世帯数 113戸 被害総額 275,172千円	前線が日本海から南下したので奥越地方中心に強い雨が降り、県北部で150~200mmに達し被害が出た。
31	1972 (昭47) 2.1~14	海難事故 栄丸(14.88t) 所属 大樟業 協同組合底引き漁船	転覆船 栄丸 死亡者 5人 うち4人死体確認できず	2月13日栄丸が京都府経ヶ岬北東23km沖合で操業(福井地方気象台6:00強風波浪注意報のため)切切り帰港中交信不能となる。船体確認場所はE135.50分S35.55分に発見、14日(月)9時50分救難隊偵察機による。
32	1972 (昭47) 7.9~16	47.7豪雨 (梅雨前線)	負傷者 1人 建物 全壊 1戸 一部破損 37戸 床上浸水 146戸 床下浸水 2,447戸 公共文教施設 17,000千円 農林水産業施設 557,939千円 公共土木施設 2,637,200千円 その他被害 362,735千円 その他公共施設 14,572千円 罹災世帯数 149世帯 罹災人員数 570人 被害総額 3,579,446千円 消防職員出勤延人数 1,266人 消防団員出勤延人数 1,740人	7月9日太平洋高気圧がやや後退し、日本海にあった前線が南下して西日本に停滞した。このため9日夜半から10日にかけて中国、山陰、九州北部で大雨を降らせ、福井県地方でも断続的に強い雨が降り始めた。この雨はさらに15日迄降り続き、この期間の福井県下の総雨量は300~500mmで山間部が多く、最も雨勢の強かったのは、11日夕方から夜半にかけての6時間で総雨量の1/3である100mm程度の雨を降らせ、堤防の決壊、がけくずれ、家屋の倒壊等の主要な原因となった。災対本部設置市町村 今立町、福井市、南条町、武生市、 ・江市、敦賀市、三方町、美浜町、高浜町、池田町(10市町)
33	1972 (昭47) 9.16~17	台風第20号	死者 1人 負傷者 7人 建物 全壊 5戸 半壊 14戸 一部破損 2,901戸 床上浸水 150戸 床下浸水 1,584戸 公共文教施設 7,833千円 農林水産業施設 707,050千円 公共土木施設 1,957,659千円 その他公共施設 8,331千円 その他被害 201,742千円 被害総額 2,882,615千円 罹災世帯数 162世帯 罹災人員数 637人 消防職員出勤延人数 401人 消防団員出勤延人数 2,006人	9月10日南洋グアム島の西方海上で発生した弱い熱帯低気圧は13日12時には沖の島南方約400kmの海上に達し、台風第20号となった。この台風は中心気圧960mbと中型の台風で速度を進めながら北上し、16日18時すぎ潮岬付近に上陸し、紀伊半島を縦断し琵琶湖の東北を通り夜半ごろ福井県東部の岐阜県境をかすめ17日2時すぎ富山湾にぬけ、佐渡付近を通り17日9時には秋田沖に達した。この期間における福井県内の雨量は嶺北地方100~200mm、県南部は200~350mmに達し、特に名田庄村では最大1時間雨量は77.5mmに達した。県内の最大風速は全般10~15m/s、最大瞬間風速は、32.6m/sであった。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
33				この台風の影響で18日夕方から20日にかけて西日本の日本海側の沿岸は高波に洗われ福井県南部の若狭湾一帯にも高波、異常潮位が起り被害を生じた。 福井県災害対策本部 設置 17日1時00分 解除 17日12時00分 災对本部設置市町村 小浜市、高浜町、上中町、三方町、名田庄村
34	1972 (昭47) 11.6	北陸トンネル内 列車火災事故	死者 30人(ガス中毒) 重軽傷者 744人 焼損程度 食堂車全焼 車両 5,265,000円 内容物 808,000円 その他 700,000円 合計 6,773,000円	11月6日午前1時13分頃(推定)大阪発青森行下り急行「きたぐに」(15輛編成)の前から11両目の食堂車が敦賀口から今庄口へ5,147kmの地点で火災を発生、死者30人、負傷者740余名という大惨事を招いた。これはトンネル内列車火災事故としては国鉄初まって以来の重大事故である。出火原因及び火元は、食堂車内喫煙室の座席下の電気ヒーターとみられ、そのヒーターの異常加熱と推定される。 (救援活動) 陸上自衛隊第14普通科連隊 324人 県警察機動隊 31人 日赤 13人 陸上自衛隊第322地区施設隊 38人 警察官 606人 消防関係 敦賀美方、南越、福井地区、鯖江・丹生各消防組合 職員 161人 団員 70人
35	1974 (昭49) 1.21	小浜市火災	死者 1人 負傷者 3人 罹災世帯数 5世帯 罹災人員 8人 全焼 5戸 焼損面積 477.38㎡ 損害額 49,069千円 消防活動 消防車 15台 消防職団員 250人	天候 晴 風向南西 風速 0.1m/s 湿度 70% 同日午前2時45分頃、小浜市中心部の雑居ビルから出火、5棟を全焼、この火事で寝ていた少年が焼け死んだ他、消火にあたっていた消防職員2人が負傷した。現場は小浜市内の繁華街駅前通り商店街に隣接しているが、消防関係が必死の消火に当たったのと幸い風がなかったため、延焼は最小限に食い止められた。県下の火災としては規模の大きいものであり、大惨事を招くところであった。出火原因はストーブの不始末。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
36	1974 (昭49) 1.23	丸岡町火災	死者 5人 負傷者 1人 店舗兼住宅 2戸全焼 焼損面積 189.3㎡ 損害額 6,510千円 消防活動 消防車 5台 消防職団員 50人	天候 曇 風向南南東 風速 4.6m/s 湿度 87% 同日午前5時頃、丸岡町西瓜屋造花業、多田恒貞さん方の店舗兼住宅から出火、延焼約190㎡を全焼、寝ていた家族8人のうち子供(小中生兄弟)5人が焼死する大惨事となった。 県内の一般住宅の火災で一度に5人もの焼死者が出たのは、戦後初めての出来事であり、今後の消防対策に大きなショックをあたえた。現場は旧国道8号線沿いの密集地域で日ごろは車や人通りがなく、発見がおくれて惨事を招いた。 原因は暖房器具で、子供5人の死因は一酸化炭素中毒とみられ煙にまかれて焼死したらしい。
37	1976 (昭51) 9.8~13	台風第17号	(1)人的被害 死者 1人 (2)建物被害 住家床上浸水 11棟 (10世帯 44人) 住家床下浸水 560棟 (559世帯 2,156人) 非住家(半壊・全壊) 4棟 (3)罹災世帯・人 罹災世帯 10世帯 罹災者 44人 (4)被害額 公共施設被害 10,822,275千円 農産被害 214,949千円 林産被害 1,500千円 畜産被害 4,600千円 その他 19,350千円 被害総額 11,062,674千	台風第17号が九州南方海上をゆっくり北上し、10日24時に九州の南西150kmの海上に達したが、11日の夜半までほとんど停滞した。このため本州付近に停滞していた前線の活動が活発化し、8日から10日にかけて大雨が降った。その後台風は北東に進み、12日の夜半過ぎに長崎県に上陸し、13日明方に日本海に抜け向きを北東に変えて夕刻福井県の北西約300kmの海上を経て、日本海北部に進んだ。 最大瞬間風速(13日) 福井 24.7m/s 敦賀 27.5m/s 雨量(8日9時~14日9時) 福井 276mm 敦賀 329mm 大野 320mm 西谷 498mm 和泉 674mm
38	1976 (昭51) 10.29 ~30	越前海岸高波	(1)人的被害 死者 1人 重傷者 5人 軽傷者 11人 (2)建物被害 住家全壊 9棟 (9世帯 42人) 住家半壊 58棟 (58世帯 266人) 住家一部破損 7棟 (7世帯 26人) 住家床上浸水 49棟 (49世帯 208人) 住家床下浸水 90棟 (90世帯 393人)	日本海を低気圧が発達しながら通過し、このため29日11時過ぎから13時過ぎにかけて暴風雨となり、越前海岸や敦賀半島の一部では15m前後の高波に襲われた 最大瞬間風速(29日) 福井 24.5m/s 敦賀 20.3m/s 災害対策本部設置市町村 越前町

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
38			非住家(半壊・全壊) 公共 2棟 その他 16棟 (3)罹災世帯・人 罹災世帯 116世帯 罹災者 516人 (4)被害額 公共施設被害 3,036,840千円 農産被害 5,850千円 水産被害 1,833,860千円 商工被害 40,200千円 その他 425,620千円 被害総額 5,392,370千円	
39	1977 (昭52) 1. 1 ～3. 31	1. 2月大雪	(1)人的被害なし 死者 3人 重傷者 15人 軽傷者 16人 (2)住家被害 全壊 14棟 (13世帯 34人) 半壊 19棟 (20世帯 93人) 一部破損 500棟 (497世帯 1,893人) 全壊 19棟 (19世帯 56人) 半壊 126棟 (122世帯 476人) (3)非住家(半壊・全壊) 公共建物 8棟 その他 86棟 (4)罹災世帯・人 罹災世帯 52世帯 罹災者 183人 水産被害 13,500千円 商工被害 15,000千円 その他被害 527,192千円 被害総額 4,090,535千円 (5)被害額 公共施設被害 1,029,171千円 農産被害 219,382千円 林産被害 2,286,000千円 畜産被害 290千円	昭和51年12月下旬から昭和52年3月上旬にかけて繰り返し強い寒波に見舞われ、敦賀で12月の積雪としては観測開始以来の最高値90cmとなるなど、各地で記録的な長期間の降積雪となった。 各地の最高積雪 福井 147cm (2.17) 敦賀 138cm (2.17) 大野 157cm (2.18) 大雪警報 12月28日 2月4日 2月16日 2月17日 福井県の体制(第1配備体制) 2月4日～5日 2月16日～17日 災害対策本部設置市町村 敦賀市、武生市、小浜市、大野市、勝山市、坂井町、池田町、南条町、今庄町、三方町、美浜町、上中町、名田庄村、高浜町、大飯町

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
40	1979 (昭54) 9.30 ～ 10.1	台風第16号	<p>(1)人的被害 死者 2人 行方不明者 1人 軽傷者 2人</p> <p>(2)住家被害 半壊 12棟 (10世帯 33人) 一部破損 144棟 (139世帯 458人) 床上浸水 297棟 (11世帯 437人) 床下浸水 1,846棟 (1,367世帯 5,141人)</p> <p>(3)非住家被害 公共建物 153棟 その他 316棟</p> <p>(4)被害箇所 田畑流出、埋没、冠水 128ha 道路 316ヶ所 橋梁 13ヶ所 河川 678ヶ所 砂防 389ヶ所 水道 10ヶ所 船舶 21隻 通信被害 1回線</p> <p>(5)罹災世帯・人 罹災世帯 121世帯 罹災者 481人</p> <p>(6)被害額 公共文教施設被害 36,114千円 農林水産業施設被害 1,733,448千円 公共土木施設被害 12,412,526千円 その他公共施設被害 85,772千円 農産被害 176,000千円 林産被害 131,823千円 畜産被害 3,000千円 水産被害 1,000千円 商工被害 88,257千円 その他被害 1,342,226千円 被害総額 16,010,166千円</p>	<p>大型で並の強さの台風第16号が30日19時頃室戸岬に上陸、22時に大阪市に再上陸したあと彦根市付近をへて奥越東部、県境を北東に早い速度で通過した。このため、県下全般に暴風となった。降水量もあまり多くなかったが、時間的地域的に集中した豪雨で鉄砲水的な洪水となり、被害は大きかった。30日暴風雨、洪水波浪警報が発表された。</p> <p>日降水量(10月1日9時まで24時間) 川上 239mm 小浜 135mm 福井 91mm 敦賀 102mm</p> <p>最大風速 福井 30日 12.1m/s 北 1日 16.1m/s 北 敦賀 30日 10.8m/s 北 1日 14.9m/s 北北西</p> <p>最大瞬間風速 福井 30日 22.4m/s 北 1日 30.4m/s 北 敦賀 30日 17.4m/s 北 1日 28.2m/s 北西</p>

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
41	1980 (昭55) 1月 ～ 2月	55年雪による 被害	(1)人的被害 死者 3人 重傷者 5人 軽傷者 2人 (2)住家被害 一部破損 45棟 (43世帯 172人) 床下浸水 470棟 (470世帯 1,840人) (3)非住家被害 公共建物 18棟 その他 76棟 (4)被害箇所 学校 16ヶ所 道路 18ヶ所 河川 23ヶ所 砂防 12ヶ所 水道 15ヶ所 清掃施設 1ヶ所 崖くずれ 1ヶ所 (5)被害額 公共文教施設被害 3,494千円 公共土木施設被害 646,510千円 その他公共施設被害 420千円 林産被害 1,621,557千円 商工被害 692,890千円 その他被害 58,820千円 被害総額 3,023,691千円	1月は中旬を中心に冬型の気圧配置がつづき、とくに20日夜から22日朝までは大雪となり、降雪量は嶺北平野部と嶺南西部で20～40cm、その他は60～130cmで、敦賀、今庄、美浜方面が多かった。2月に入っても強い冬型の気圧配置は月半ばまでつづき、断続的に強く降り昭和52年以来3年ぶりの大雪となった。17日までの最深積雪は嶺南地方で30～50cm、嶺北の平野部で80cm、奥越や奥越の山沿いで150～300cmに達した。
42	1980 (昭55) 8.22～23	大雨(雷雨)	(1)人的被害 死者 1人 重傷者 2人 軽傷者 2人 (2)住家被害 半壊 1棟 (1世帯 1人) (3)被害箇所 道路 20ヶ所 河川 49ヶ所 砂防 14ヶ所 (4)罹災世帯・人 罹災世帯 1世帯 罹災者 1人 (5)被害額 農林水産業施設被害 20,018千円 公共土木施設被害 416,560千円 被害総額 436,578千円	21日から23日にかけて低気圧が西日本から北陸沿岸を東に進み、前線活動が活発となり、各地に雷雨による強い雨が降った。県下では23日、大雨洪水警報、雷雨注意報が発表された。 23日の降水量 福井 50mm 敦賀 58mm 美山 86mm 勝山 63mm 美浜 53mm

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況その他
43	1980 (昭55) 10.26 ～27	高波と高潮の被害	(1)人的被害 死者 2人 重傷者 1人 軽傷者 3人 (2)住家被害 半壊 5棟 (5世帯 30人) 一部破損 57棟 (57世帯 234人) 床上浸水 5棟 (5世帯 26人) 床下浸水 69棟 (69世帯 281人) (3)非住家被害 公共建物 9棟 その他 74棟 (4)被害箇所 田畑流出、埋没 1.12ha 学校 5ヶ所 病院 1ヶ所 道路 42ヶ所 河川 3ヶ所 港湾 3ヶ所 水道 8ヶ所 崖崩れ 2ヶ所 船舶 151隻 (5)罹災世帯・人 罹災世帯 10世帯 罹災者 56人 (6)被害額 公共文教施設被害 1,300千円 農林水産業施設被害 378,211千円 公共土木施設被害 2,317,001千円 その他公共施設被害 200千円 水産被害 17,000千円 商工被害 59,000千円 その他被害 264,635千円 被害総額 3,068,247千円	25日に日本海に入った低気圧が台風なみに急速に発達し26～27日にかけて、北海道を通過した。本県では25日夜半頃から西よりの風が強くなり、27日朝まで強かった。この強風で海上海岸は大しけとなり、高潮を伴い海岸には大波が打ちよせた。 福井の気圧(海面の値) 25日21時 994.9mb 福井 最大風速 25日 10.9m/s 西 26日 11.6m/s 南西 最大瞬間風速 25日 21.5m/s 西 26日 21.0m/s 南西 敦賀 最大風速 25日 11.8m/s 南南東 26日 6.7m/s 西 最大瞬間風速 25日 25.3m/s 南南東 26日 15.4m/s 西 越廼地域気象観測所の毎正時10m/s以上の風 25日 22時 12m/s 西南西 23時 10m/s 西南西 26日 01時 11m/s 西南西 04時 11m/s 西南西 12時 11m/s 西南西 19時 13m/s 西 27日 04時 11m/s 西南西
44	1980 (昭55) 12月 ～ 1981 (昭56) 3月	56豪雪	(1)人的被害 死者 15人 重傷者 55人 軽傷者 79人 (2)住家被害 全壊 37棟 (37世帯 116人) 半壊 40棟 (42世帯 138人) 一部破損 2,750棟 (2,717世帯 11,246人) 床上浸水 72棟 (72世帯 284人) 床下浸水 860棟 (813世帯 3,125人)	12月27日から1月中旬にかけて4、5日から1週間程度の大雪が3回にわたって繰り返し降った。特に12月27日と28日及び1月4日と5日は短時間に集中した非常につよい降雪であり、また10日～14日には日量30～50cmのつよい降雪が続いた。これらの降雪で各地の積雪は記録的な量となり、敦賀市では38豪雪をはるかにこえる深い積雪で測候所開設以来の最深積雪196cmを1月15日に観測した。福井も1月15日196cmを観測し第3位を記録した。 第1位 213cm 昭和38年1月 第2位 209cm 昭和2年2月

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況																																				
44			<p>(3)非住家被害  全壊 347 棟  半壊 126 棟  一部破損 2,188 棟  床上浸水 10 棟  床下浸水 59 棟</p> <p>(4)罹災世帯・人  罹災世帯 151 世帯  罹災者 538 人</p> <p>(5)被害額  家屋の被害 3,831,448 千円  農林水産関係被害 23,270,726 千円  公共土木施設関係被害 13,270,875 千円  商工業関係被害 19,412,693 千円  文化・教育関係被害 452,175 千円  交通機関関係被害 1,709,830 千円  通信施設関係被害 397,000 千円  電力関係被害 1,385,646 千円  環境衛生施設関係被害 7,617 千円  社会福祉施設関係被害 42,471 千円  交通安全施設関係被害 77,226 千円  市町村除排雪費 4,332,936 千円  被害総額 128,310,643 千円</p>	<p>その後強い冬型の気圧配置は1月下旬には弱まり、2月も上旬中旬は大きな崩れもなく、寒さはゆるんだ。しかし、下旬後半強い寒気の南下があり、激しい吹雪ときびしい冷え込みがあった。3月は一時的な低温はあったが、ほぼ順調に経過し深かった積雪も海岸地方から消え始めたが山間部では4月末まで残った。</p> <p>今回の豪雪による被害は湿り気の多いドカ雪で4、5日続きの強い降雪が短期間に3回もくり返し襲来したことが原因であった。なお、12月下旬から3月にかけて大雪警報や各種の注意報がたびたびにわたり発表された。</p> <p>各地の最深積雪</p> <table border="1"> <tr><td>福井</td><td>1月15日</td><td>196cm</td></tr> <tr><td>敦賀</td><td>〃</td><td>196cm</td></tr> <tr><td>大野</td><td>〃</td><td>258cm</td></tr> <tr><td>勝山</td><td>〃</td><td>270cm</td></tr> <tr><td>今庄</td><td>〃</td><td>231cm</td></tr> <tr><td>小浜</td><td>1月23日</td><td>1月27日 48cm</td></tr> <tr><td>美浜</td><td>1月15日</td><td>133cm</td></tr> <tr><td>北谷</td><td>1月14日</td><td>450cm</td></tr> <tr><td>美山</td><td>1月7日</td><td>260cm</td></tr> <tr><td>三国</td><td>1月23日</td><td>56cm</td></tr> <tr><td>越廼</td><td>2月28日</td><td>39cm</td></tr> <tr><td>川上</td><td>1月14日</td><td>51cm</td></tr> </table>	福井	1月15日	196cm	敦賀	〃	196cm	大野	〃	258cm	勝山	〃	270cm	今庄	〃	231cm	小浜	1月23日	1月27日 48cm	美浜	1月15日	133cm	北谷	1月14日	450cm	美山	1月7日	260cm	三国	1月23日	56cm	越廼	2月28日	39cm	川上	1月14日	51cm
福井	1月15日	196cm																																						
敦賀	〃	196cm																																						
大野	〃	258cm																																						
勝山	〃	270cm																																						
今庄	〃	231cm																																						
小浜	1月23日	1月27日 48cm																																						
美浜	1月15日	133cm																																						
北谷	1月14日	450cm																																						
美山	1月7日	260cm																																						
三国	1月23日	56cm																																						
越廼	2月28日	39cm																																						
川上	1月14日	51cm																																						
45	1981 (昭56) 7.2～3	集中豪雨	<p>(1)人的被害  行方不明者 1人  重傷者 2人 軽傷者 1人</p> <p>(2)住家被害  全壊 5棟 5世帯 15人  半壊 11棟 11世帯 35人  一部破損 18棟  (18世帯 75人)  床上浸水 402棟  (402世帯 1,505人)  床下浸水 2,359棟  (2,364世帯 8,194人)</p> <p>(3)非住家被害  公共建物 2棟  その他 584棟</p> <p>(4)被害箇所  田冠水 1,730ha 畑冠水 145ha  文教施設4ヶ所 道路 415ヶ所  橋梁 15ヶ所 河川 638ヶ所  砂防 282ヶ所 水道 14ヶ所  崖くずれ 158ヶ所  鉄道不通 2ヶ所</p>	<p>1日から4日にかけて梅雨前線が中部日本から西日本にかけて停滞し、活動が活発であった。このため、1日夜から3日にかけて本県では雨が強く降り、この期間の降水量は嶺北地方で100mmをこし、県北部の三国町、勝山市では共に226mmに達する大雨であった。特に2日夜半前から3日未明にかけての県北部の雨は1時間に40mm前後の集中的なもので、2日には大雨洪水警報、雷雨注意報が発表された。</p>																																				



番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
45			(5) 罹災世帯・人 罹災世帯 418 世帯 罹災者 1,555 人 (6) 被害額 公共文教施設被害 100 千円 農林水産業施設被害 2,466,190 千円 公共土木施設被害 10,549,920 千円 その他公共施設被害 357,706 千円 農産被害 8,699 千円 畜産被害 620 千円 商工被害 493,440 千円 その他被害 431,564 千円 被害総額 14,308,239 千円	
46	1982 (昭 57) 8.1~2	台風第 10 号	(1) 人的被害 重傷者 1 人 (2) 住家被害 半壊 1 棟 (1 世帯 3 人) 一部破損 3 棟 (2 世帯 10 人) 床上浸水 31 棟 (31 世帯 109 人) 床下浸水 475 棟 (472 世帯 1,690 人) (3) 非住家被害 全壊 2 棟 一部破損 40 棟 床上浸水 2 棟 床下浸水 103 棟 (4) 罹災世帯・人 罹災世帯 32 世帯 罹災者 112 人 (5) 被害額 公共文教施設被害 2,650 千円 農林水産業施設被害 3,112,000 千円 公共土木施設被害 8,740,910 千円 その他公共施設被害 131,814 千円 農産被害 539,000 千円 商工被害 63,060 千円 その他被害 92,781 千円 被害総額 12,682,215 千円	大型で並の勢力を保ち、2 日 00 時頃 愛知県渥美半島西部に上陸、本州中部 を縦断し 2 日朝能登沖の日本海へ達 し、同日 15 時に温帯低気圧となった。 この台風は、風雨ともに強かったが、 雨は嶺南地方を中心に特に強かった。 最大風速 福井 2 日 15:20 17.3m/s 南西 敦賀 2 日 03:30 15.6m/s 西 最大瞬間風速 福井 2 日 05:00 28.1m/s 南西 敦賀 2 日 03:30 28.6m/s 西 各地の降水量 (地方気象観測資料) 1 日 00 時~2 日 15 時の期間 観測所 総降水量・最大 3 時間量・最 大 1 時間量 福井 95mm 24mm 14mm 大野 130mm 34mm 16mm 今庄 187mm 55mm 21mm 敦賀 214mm 67mm 26mm 美浜 258mm 56mm 33mm 小浜 253mm 94mm 37mm 川上 337mm 137mm 54mm

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
47	1982 (昭57) 12月 ～ 1983 (昭58) 3月	57年雪による被害	(1)人的被害 死者 2人 重傷者 2人 軽傷者 1人 (2)住家被害 床上浸水 3棟 (3世帯 13人) 床下浸水 50棟 (50世帯 187人) (3)非住家被害 その他 3棟 (4)被害総額 107,383千円	冬の前半は比較的穏やかに経過したが、1月中旬から下旬にかけて冬型気圧配置が断続し、特に下旬はじめには冬型気圧配置が強まり奥越山間部中心に100cm、平野部で40cm前後の積雪があったが、冬型も長続きせず、再び高温傾向となった2月中旬に入り本格的寒波の到来で、下旬はじめにかけ奥越山間部中心に140～250cm、平野部で40～50cmの積雪で今冬の最深となった。冬型気圧配置は3月中旬までたびたび現れ県内各地で降雪があった。
48	1984 (昭59) 1月 ～ 3月	59豪雪	(1)人的被害 死者 3人 重傷者 35人 軽傷者 61人 (2)住家被害 全壊 5棟 (5世帯 11人) 半壊 4棟 (4世帯 10人) 一部破損 99棟 (198世帯 593人) 床上浸水 1棟 (1世帯 1人) 床下浸水 25棟 (25世帯 105人) (3)非住家被害 公共建物 10棟 その他 251棟 (4)被害総額 18,222,369千円	58年12月中旬から59年3月末まで異常低温が持続し、これに断続的な強い降雪が加わって大雪となった。各地の最深積雪は2月10日頃、福井95cm、敦賀113cm、大野175cm、今庄236cm、小浜135cmであった。 積雪分布の特色は嶺南大雪になり、とくに小浜の最深積雪は明治42年からの累年極値となった。また、積雪日数は福井98日(平年59.4日)、敦賀98日(同49.5日)、大野116日(同80日)と多かった。
49	1985 (昭60) 1月 ～ 3月	60年雪による被害	(1)人的被害 死者 4人 重傷者 13人 軽傷者 20人 (2)住家被害 全壊 1棟 (1世帯 1人) 半壊 1棟 (1世帯 1人) 一部破損 202棟 (199世帯 816人) 床上浸水 1棟 (1世帯 4人) 床下浸水 26棟 (26世帯 103人) (3)非住家被害 公共建物 13棟 その他 98棟 (4)被害総額 3,635,946千円	12月末寒波の襲来から寒冬になり年末は大雪となった。(敦賀30日86cm、大野31日158cmは今冬の最深積雪。)1月も時々冬型が強まり降雪量はほぼ平年並であったが、厳冬は続いた。しかし2月になると前半は暖冬、後半は山雪に変わり積雪におおわれた。3月は曇、雨天が多く、月末は遅い降雪があった。 積雪総日数は福井69日(平年58.9日)、敦賀60日(同49.6日)、大野(準平年88.4日)であった。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
50	1985 (昭60) 6.18 ～ 7.19	集中豪雨の被害	(1)人的被害 死者 4人 (2)住家被害 半壊 2棟 (2世帯 10人) 一部破損 2棟 (2世帯 6人) 床下浸水 44棟 (44世帯 164人) (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 11棟 (4)被害総額 7,906,548千円	梅雨前線の活動と共に6月末は北上してきた台風第6号の前線刺激も加わって、”つゆの晴れ間”の出ない長雨が連続した。雨は断続的な降り方を示し初め山沿いに多かったが次第に梅雨末期特有の雷を伴う激しい雨に変わり、平野部でも雨量が増えた。21～22日の夜、および24日から25日にかけては、全域に強い雨(90～120mm)28日未明には嶺南を中心に激しい雨(80mm、嶺北20～50mm)7月に入ると7日に嶺北で70～130mmの大雨が降った。なお敦賀市で6月28日に92mmという6月の24時間雨量の極値および7月21日には1時間雨量57.5mmという7月の極値を記録した。
51	1985 (昭60) 12月 ～ 1986 (昭61) 3月	雪による被害	(1)人的被害 死者 4人 重傷者 21人 軽傷者 33人 (2)住家被害 全壊 1棟 (1世帯 5人) 半壊 1棟 (1世帯 3人) 一部破損 91棟 (94世帯 308人) 床上浸水 2棟 (2世帯 7人) 床下浸水 6棟 (6世帯 28人) (3)非住家被害 公共建物 4棟 その他 106棟 (4)被害総額 2,198,973千円	60年12月14日から19日にかけて今冬初の本格的な強い冬型気圧配置となった。特に16日～17日は第一級の寒気団に覆われ12月中旬としては記録的な大雪となった。 最深積雪 福井73cm 敦賀68cm 三国119cm 北谷174cm 大野79cm 61年1月4日から再び冬型気圧配置が強まり、5～6日、9～11日、21～28日にかなりの降雪があった。特に21日から寒気団の南下で県下全域にわたり激しい降雪となり、三国では38年以来の大雪。 最深積雪 福井127cm 敦賀90cm 大野152cm 三国120cm 降雪の深さ日最大 福井56cm 敦賀58cm 三国53cm 美山48cm 美浜30cm 北谷74cm
52	1985 (昭60) 6.28 ～ 7.22	梅雨前線による被害	(1)人的被害 死者 1人 軽傷者 3人 (2)住家被害 一部破損 1棟 (1世帯 7人) 床下浸水 5棟 (5世帯 12人) (3)非住家被害 その他 1棟 (4)被害総額 3,190,577千円	6月28日から6月30日にかけて、低気圧が日本海西部から日本海沿岸を東北東進し、梅雨前線の活動が活発となった。県下全域で時間雨量10mm前後の雨が29日昼まで続き、総雨量は100mm以上に達した。(三国123mm、勝山101mm、九頭竜110mm、美浜102mm)7月11日から14日にかけて、梅雨前線が本州上を東西にのび停滞。黄海に発生した低気圧が北東進し、前線が福井県地方に停滞した。県下全域で11日昼すぎから雨が降りだし、山くずれ、がけくずれが発生した。7月21日から22日、梅雨前線が山陰地方から福井県嶺南地方を通り東海地方に達し、この前線上に小さな低気圧が発生、嶺南地方中心に大雨となった。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
52				総雨量 小浜 206mm 川上 164mm 美浜 113mm 敦賀 113mm 今庄 105mm 日雨量 川上 98mm 美浜 86mm 敦賀 64mm 小浜 58mm
53	1987 (昭 62) 7. 14~20	台風第 5 号による大雨	(1) 人的被害 死者 1 人 (2) 住家被害 床上浸水 3 棟 (3 世帯 8 人) 床下浸水 28 棟 (25 世帯 93 人) (3) 非住家被害 その他 2 棟 (4) 被害総額 1, 117, 400 千円	13 日より台風第 5 号の影響で梅雨前線は北上し、大気の状態が不安定で雷雨となった。14 日には台風は更に北上し、局地的な雷雨が起こり、勝山市で時間雨量 64mm と強い雨を記録した。17 日には梅雨前線が日本海沿岸に停滞し、その後次第に南下して活動が活発となり、曇や雨が続いた。
54	1988 (昭 63) 4. 18	強風による被害	(1) 人的被害 重傷者 1 人 軽傷者 3 人 (2) 非住家被害 公共建物 1 棟 (3) 被害総額 4, 850 千円	黄海北部への低気圧が日本海北部へ進み、台風並に発達した。このため、県内全域で南よりの強風が吹き荒れた。(暴風警報発表)
55	1988 (昭 63) 6. 7 ~ 7. 29	豪雨	(1) 人的被害 重傷者 1 人 (2) 住家被害 床下浸水 20 棟 (14 世帯 46 人) (3) 被害総額 972, 440 千円	8 日午後、日本海北部の低気圧から伸びる前線が本州上を南下し、9 日には嶺南地方でかなりの雨量があった。(敦賀 38mm、小浜 98mm、川上 83mm) 7 月中旬九州南海上の台風 5 号の北上に伴って、大気の状態が不安定となり雷雨になった。14 日から 16 日にかけて台風第 5 号はさらに北上し、県内の所々で強い雷雨が起こり、勝山市では時間雨量 64mm と強い雨を記録した。 時間雨量 美山町 15 日 31mm 日雨量 和泉村九頭竜 16 日 85mm
56	1989 (平成) 4. 16	土砂崩れ	(1) 人的被害 死者 1 人 (2) 住家被害 一部破損 1 棟 1 世帯 49 人 (3) 被害箇所 水道断水 195 ヶ所 土砂崩れ 1 ヶ所 農業用施設等 1 ヶ所 (4) 被害総額 195, 404 千円	16 日 19:45 頃、敦賀市中の特別養護老人ホーム「溪山荘」裏山の土手が崩れ、500 m <sup>3</sup> の土砂流が同荘 1 階に流入した。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
57	1989 (平成) 5. 2	地震	(1)人的被害なし (2)住家被害なし (3)被害箇所 道路 4ヶ所 橋梁 4ヶ所 砂防 1ヶ所 鉄道不通 1ヶ所 農業用施設等 1ヶ所 (4)被害総額 675,428千円	2日16:08に発生した地震により、国道158号(大野市下唯野地系)の路側ブロックおよび基礎にひびが入り崩壊した。人的被害はなかったものの、国道158号と国道下のJR越美北線は使用不能となり、全面通行止めとなった。 震源地 岐阜県西部(北緯35.3度、東経136.6度、深さ40km) 規模 マグニチュード4.7 各地の震度 震度3(岐阜) 震度2(名古屋、津、福井、敦賀、彦根、上野、舞鶴) 震度1(京都、飯田、静岡、奈良、網代)
58	1989 (平成) 7. 9~17	梅雨前線による被害	(1)人的被害 死者 15人 (2)住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 37棟 (38世帯 137人) (3)被害箇所 田畑被害 2.2ha 道路 183ヶ所 河川 205ヶ所 砂防 87ヶ所 農業用施設 82ヶ所 林道 64ヶ所 (4)被害総額 7,875,672千円	9日から10日にかけて、低気圧が日本海沿岸を進み、梅雨前線が北上して活発化し、雷を伴った強い雨が降り大野、越廼、九頭竜などで80mmを越える大雨となった。 11日から12日にかけて、引き続き北陸地方に停滞した梅雨前線を低気圧が通過し、嶺北地方を中心に大雨となった。その後、梅雨前線は本州の南海上まで南下したが、15日から16日にかけて再び北上し、活動が活発となった。 この期間内の16日15:20頃、国道305号(丹生郡越前町玉川地系)で岩盤の崩壊によりロックシェッドが押しつぶされ、下敷きとなったマイクロバスの乗客15人が死亡する大惨事となった。 9日間降水量 越廼 238mm 福井 215mm 勝山 266mm 災害対策本部設置 越前町
59	1989 (平成) 9. 2~7	豪雨	(1)人的被害 死者 1人 (2)住家被害 一部破損 1棟 1世帯 7人 床上浸水 2棟 2世帯 8人 床下浸水 398棟 (394世帯 1,296人) (3)非住家被害 5棟 (4)被害箇所 田畑被害 360ha 道路 89ヶ所 橋梁 2ヶ所 河川 155ヶ所 砂防 38ヶ所 崖崩れ 7ヶ所 鉄道不通 2ヶ所 農業用施設 75ヶ所 林道 109ヶ所 (5)被害総額 4,401,180千円	寒冷前線の南下に伴い2日から3日にかけて各地で100mmを越える大雨が降った。 4日は晴れたが、太平洋高気圧の影響で前線が北上、本州上に停滞し5日、7日にかけて再び大雨となった。 6日間降水量 越廼 306mm 福井 295mm 九頭竜 571mm 今庄 261mm 敦賀 250mm 大雨洪水警報発表 7回

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
60	1990 (平2) 9.12~20	台風第19号	(1)人的被害 軽傷者 3人 (2)住家被害 半壊 1棟 1世帯 1人 一部破損 75棟 (69世帯 240人) 床下浸水 19棟 (28世帯 94人) (3)非住家被害 公共建物 38ヶ所 その他 103ヶ所 (4)被害箇所 田畑被害 604.7ha 道路 165ヶ所 橋梁 3ヶ所 河川 269ヶ所 港湾 14ヶ所 砂防 125ヶ所 鉄道不通 1ヶ所 農業用施設等 229ヶ所 林業関係施設 100ヶ所 (5)被害総額 7,634,561千円	12日は日本海に停滞していた秋雨前線が南下して午後から雨になった。この前線は本州付近に停滞して雨の日が続いた。大型で非常に強い台風第19号が日本の南海上を北上し、17日には沖縄近海に達し、進路を北西に変えてゆっくりと北上を続けた。南から暖かい湿った空気が流れ込んで秋雨前線の活動が活発になり、17日には九頭竜で93mm、18日には九頭竜および三国で70mmを超える雨が降った。19日20時頃台風第19号は大型で強い勢力を保ちながら和歌山県南部に上陸、本州を縦断して東北地方から太平洋に抜けた。19日午後から風雨が強まり、雨は嶺南地方で多く19日から20日の午前中にかけて美浜、小浜では180mmを超え、川上では279mmの大雨となった。また、風は敦賀で最大風速が20m/sを超え、県内全域で雨や風による被害が発生した。
61	1990 (平2) 12.26 ~27	暴風波浪	(1)人的被害 重傷者 1人 軽傷者 1人 (2)住家被害 一部破損 1棟 1世帯 2人 床下浸水 11棟 11世帯 47人 (3)非住家被害 公共建物 2棟 その他 8棟 (4)被害箇所 田畑被害 4.2ha 港湾 15ヶ所 (5)被害総額 2,341,868千円	26日は沿海州沖と東海道沖を低気圧が進み、27日にはこれらの低気圧が三陸の東海上で一つにまとまって発達し日本付近は冬型の気圧配置となった。本県では26日から27日にかけて低気圧が発達しながら日本海を通過して、雨を伴う強い風が吹いて、高波による大きな被害が発生した。 最大風速 福井 12.6m/s 北西 敦賀 17.4m/s 北西 越廼 12.0m/s 西北西 小浜 11.0m/s 西北西 最大瞬間風速 福井 25.5m/s 西南西 敦賀 29.3m/s 北西
62	1991 (平3) 2.15~16	暴風波浪	(1)人的被害 死者 1人 重傷者 6人 軽傷者 1人 (2)住家被害 半壊 1棟 1世帯 4人 一部破損 37棟 37世帯 119人 (3)非住家被害 公共建物 10棟 その他 17棟 (4)被害箇所 道路 6ヶ所 港湾 3ヶ所 文教施設 6ヶ所 農林水産施設 12ヶ所 (5)被害総額 766,000千円	15日、九州の南の海上に2つの低気圧があって共に発達しながら北東に進み、山陰沖にも低気圧が発生して日本海沿岸を東北東進した。朝から南よりの強い風が吹いて春一番になった。三方町役場の観測では、11時35分頃に最大瞬間風速37.0m/sを観測した。また、役場職員が三方湖の伊良積付近で、三方湖上を南から北へ移動する竜巻状の水柱を目撃した。 最大風速 福井 11.6m/s 南南東 敦賀 19.1m/s 南南東 美浜 11.0m/s 南東 小浜 12.0m/s 北西 最大瞬間風速 福井 26.8m/s 北西 敦賀 33.4m/s 南南東

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
63	1991 (平3) 9.27~28	台風第19号	<p>(1)人的被害 重傷者 3人 軽傷者 14人</p> <p>(2)住家被害 全壊 2棟 2世帯 6人 半壊 11棟 11世帯 38人 一部破損 1,694棟 (1,607世帯 6,361人)</p> <p>(3)非住家被害 公共建物 442棟</p> <p>(4)被害箇所 田 0.28ha 学校 195ヶ所 病院 4ヶ所 道路 32ヶ所 清掃施設 1ヶ所 鉄道不通 3ヶ所 被害船舶 7隻 電話回線 1,006回線 電気 47,000戸 ブロック塀 17ヶ所 農業用施設 1,328ヶ所 火災発生(建物) 1件 " (その他) 4件</p> <p>(5)被害総額 2,612,863千円</p>	<p>16日9時、マーシャル諸島の西の海上で熱帯低気圧から台風になり、ゆっくり西北西に進んだ。22日9時に進路を北西に変え発達しながら毎時15kmの速さで進み、25日9時には沖縄の南海上に達し、大型で非常に強い台風(中心付近の最大風速は45m/s、中心気圧は935mb)に発達した。</p> <p>この付近から進路をやや北寄りに変え26日9時に宮古島の南東約70kmを通過し、27日9時に鹿児島市の南南西約340kmに達した後速度を速め毎時55kmの速さで北北東に進み27日16時過ぎに長崎県佐世保市の南に上陸した。27日19時には萩市付近から日本海に出て、さらに速度を速め山陰地方の沿岸を毎時70kmで北東に進んだ。福井県地方は、27日21時頃から暴風域に入り、最も接近した27日23時過ぎ福井で南南東48.8m/sの最大瞬間風速(1940年の統計開始以来第1位)を観測した。この南寄りの強い風で、フェーン現象が起り、気温は32.9℃まで上昇した。雨量は27日から28日にかけて5mmから20mmで、和泉村九頭竜では75mmを観測した。</p> <p>海上は大しけ状態になった。台風は日本海に出てからも大型で非常に強い勢力を保ち28日の3時には輪島市の北約170km付近に達し、福井県地方は暴風域から外れた。</p> <p>福井地方気象台 最低気圧(海面) 982.9mb 最大風速 23.4m/s 南 最大瞬間風速 48.8m/s 南南東 総降水量 2.0mm</p> <p>敦賀測候所 最低気圧(海面) 987.3mb 最大風速 21.3m/s 南南東 最大瞬間風速 37.3m/s 南南東 総降水量 21.0mm</p>

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
64	1993 (平5) 4.7	越前町火災	(1)人的被害 負傷者 1人 (2)住家被害 全焼 18戸 部分焼 10戸 (3)罹災世帯・人 罹災世帯 16世帯 罹災者 68人 (4)被害状況 焼損面積 建物 2,701㎡ 林野 390a 損害額 157,870千円 (5)消防活動 消防車 41台 消防職団員 442人	天候 曇 風向西 湿度 62% 7日21時03分、越前町道口の製材所の建物火災を発見し消防に通報したが、瞬間最大風速15m/sという強風に煽られて、またたく間に東方へ密集している民家等に延焼し、さらに21時19分頃近くの山林へと飛び火した。密集地の火災は23時35分に、林野火災は翌8日の午前1時40分に鎮火した。
65	1993 (平5) 7.11~14	梅雨前線豪雨	(1)人的被害 行方不明者 1人 (2)住家被害 床下浸水 22棟 64世帯 131人 (3)非住家被害なし (4)被害箇所 道路 5ヶ所 河川 5ヶ所 崖くずれ 6ヶ所 (5)被害総額 2,333,110千円	11日から14日は梅雨前線の活動が活発となり、13日は勝山・大野・美山で日降水量100mmを超える大雨となった。また、同日奥越では1時間降水量が20~30mmの強い雨が降った。
66	1993 (平5) 7.13	北海道南西沖地震に伴う津波	(1)人的被害なし (2)住家被害なし (3)非住家被害なし (4)災害対策本部設置市町村 美浜町 7月13日 0時30分~9時	12日22時17分北海道南西沖を震源とするマグニチュード7.8の地震が発生した。 北海道の小樽、寿都などで震度5の強震を観測した。福井、敦賀は無感であった。 この地震で日本海沿岸、オホーツク海沿岸、太平洋沿岸に津波警報、津波注意報が発表された。福井県には津波が来襲したが被害はなかった。 12日23時25分 福井県沿岸津波注意報 13日0時12分 福井県沿岸津波警報 同日7時 警報解除



番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
67	1993 (平5) 9.2~4	暴風雨および 豪雨	(1)人的被害 軽傷者 2人 (2)住家被害 一部破損 4棟 4世帯 7人 (3)非住家被害 1棟 (4)被害箇所 崖くずれ 1ヶ所 電気 6,560戸 (5)災害対策本部設置市町村 坂井町 9月3日16時 ~ 4日12時30分	台風第13号が3日九州南部に上陸し、日本海に抜けて4日午前中福井県に接近した。 福井では、最大瞬間風速31.9m/sを観測、和泉村九頭竜で降水量が110mmに達した。 福井市では自主避難所の開設を行った。
68	1995 (平7) 1.17	地震	(1)人的被害なし (2)住家被害なし (3)非住家被害 公共建物 3棟 (4)被害箇所 水道 28戸 ガス 1ヶ所 その他の公共施設 1ヶ所 公共施設被害市町村 1町 (5)被害総額 2,750千円	兵庫県南部地震 震度 福井 4 敦賀 4 M7.2 1月17日5時46分 淡路島 深20km 北緯 34度36.4分 東経 135度02.1分
69	1996 (平8) 4.29~30	今庄町 林野火災	(1)山林雑木林等 23.3haの焼損 (2)立木 杉 約11,700本焼損 (3)被害総額 14,967千円	日本海低気圧によるフェーン現象が起こり、22日以降実効湿度は60%以下の日が続き、29日の日最小湿度は、福井12%(第2位)、敦賀13%(第1位)であった。
70	1996 (平8) 8.15	台風第12号	(1)人的被害 軽傷 1人 (2)住家被害なし (3)非住家被害 その他 2棟 (4)被害総額 16,527千円	大型で強い台風第12号による10m/sを超える強い風は、14日昼頃から15日明け方に吹き、福井の日最大瞬間風速は、27.6m/sを記録した。
71	1996 (平8) 12.1~2	大雪	(1)人的被害 死者 1人 軽傷者 2人 (2)住家被害 一部破損 1棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 2棟 (4)被害箇所 鉄道不通 4ヶ所 停電 11,300戸 (5)被害総額 299,656千円	12月1日に日本上空に真冬並みの強い寒気が南下、山陰沖に低気圧が発生し、福井県沖を通過した。 1日の明け方から夕方にかけて、西よりの強風が吹き、福井空港で日最大瞬間風速37m/sを観測した。 県内全般に1日朝から2日朝9時の降雪は10~30cm、嶺北の山間部で40~50cm、嶺北平野でこの時期にまとまった積雪は珍しい。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
72	1997 (平9) 1. 7 ～ 4. 30	重油流出事故 災害	(1) 人的被害なし (2) 住家被害なし (3) 非住家被害なし (4) 被害箇所なし (5) 災害対策本部設置市町村 福井市、敦賀市、小浜市、 三国町、芦原町、河野村、 越前町、越廼村、三方町、 美浜町、高浜町、大飯町	日本海西部は、強い冬型の気圧配置になりつつあり、事故発生海域から、約103km離れた気象庁のブイ、ロボット観測によると事故現場付近の同時刻の状況は、西の風 42 ノット（秒速22m）、有義波高 8m であった。当時の海象は、冬の日本海の高気圧の中でも年に1回程度発生する厳しいものであったが、異常気象ではなかった。
73	1998 (平10) 9. 22	台風第7号	(1) 人的被害 死者 4人 重傷者 7人 軽傷者 5人 (2) 住家被害 全壊 8棟 8世帯 26人 半壊 13棟 13世帯 36人 床上浸水 209棟 (208世帯 725人) 床下浸水 186棟 (184世帯 581人) 一部破損 686棟 (681世帯 2,427人) (3) 非住家被害 公共建物 1棟 公共建物 49棟 (4) 被害箇所 学校 1ヶ所 道路 364ヶ所 橋梁 9ヶ所 河川 182ヶ所 砂防 2ヶ所 崖くずれ 326ヶ所 鉄道不通 3ヶ所 被害船舶 7隻 水道断水 1,928戸 停電 7,290戸 (5) 被害総額 10,006,052千円 (6) 災害対策本部設置市町村 越前町、織田町 (7) 災害救助法適用市町村 越前町	中型で強い台風第7号は、四国沖を北上し、和歌山県御坊市付近に上陸し、22日16時頃福井県東部を通過した。台風7号の暴風域は14時過ぎに嶺南地方にかかり初め、15時には県内全域に及んだ。台風7号の中心は15時半頃嶺南地方に最接近した後、16時半頃にかけて福井県東部（奥越地方）を通過し、加速しながら18時頃には富山湾に達した。暴風域は18時には嶺南地方から、19時には県内全域からはずれ、その後風は急速に弱まった。雨は弱い台風第8号に伴うものが22日朝まで降っていたが、その後、台風第7号に伴う雨が降り出し、15時～18時にかけて県内各地で1時間20～50mmの暴風雨となった。22日の降水量は台風第8号によるものも含め、九頭竜・大飯で150mmを超え、県内全般に100～140mm、奥越で70mmを記録した。
74	1999 (平11) 1. 10、11、 15	大雪	(1) 人的被害 軽傷者 2人 (2) 非住家被害 その他 1棟	8～10日にかけて猛烈に発達した低気圧が千島近海で停滞し、冬型の気圧配置が持続した。 8～9日は日本海上空の気圧の谷の影響で、雪雲が若狭湾付近で収束したため、嶺南東部から嶺北にかけて連日30cm前後の雪が降り、最深積雪は50～70cmとなった。嶺南の美浜や小浜で平成8年以来3年ぶりに30cm以上の積雪を記録した。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
75	1999 (平 11) 6. 29～30	梅雨前線 豪雨	(1) 人的被害 軽傷者 2 人 (2) 住家被害 一部破損 1 棟 1 世帯 5 人 床下浸水 1 棟 1 世帯 4 人 (3) 被害箇所 道路 1 ヶ所 崖くずれ 1 ヶ所 (4) 公共施設被害額 30,655 千円	29～30 日にかけて、日本海沿岸まで北上した梅雨前線を低気圧が進み前線活動が活発になった。 2 日間の降水量 今庄 99mm 越廼 86mm 大飯 85mm 小浜 81mm 福井 73mm 日最大 1 時間降水量 小浜 39mm 今庄 30mm 美浜 27mm
76	1999 (平 11) 12. 20 ～24、27	大雪	(1) 人的被害 軽傷者 7 人 (2) 住家被害 一部破損 1 棟 1 世帯 2 人	20 日から 21 日にかけて日本付近に強い寒気(21 時 09 時輪島上空約 5,300m で-39.3 度)が南下して平野部で本格的な雪が降り、福井の最深積雪は 12 月としては 1986(昭 60)年の 73cm 以降久々の大雪であった。 最深積雪 21 日 九頭竜 94cm 福井 43cm 大野 97cm 敦賀 29cm 武生 47cm 勝山 91cm
77	2000 (平 12) 6. 5	地震	(1) 人的被害なし (2) 住家被害なし (3) 非住家被害 公共建物 3 ヶ所 (4) 公共施設被害額 17,791 千円	福井県嶺南地方の地震 M4.7 深さ 10km 北緯 35 度 43.1 分 東経 136 度 06.7 分 6 月 5 日 9 時 54 分 武生市、池田町、南条町、今庄町、朝日町で震度 3 を観測
78	2000 (平 12) 12. 17	京福電鉄 衝突事故	(1) 人的被害 死者 1 人 重傷者 24 人 軽傷者 2 人 (2) 住家被害なし (3) 被害箇所 鉄道不通 1 ヶ所	九州の南海上に前線が延びて曇り、嶺南は夕方一時雨。 特に異常な気象状況ではなかった。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
79	2001 (平13) 1.5～23	大雪	(1)人的被害 死者 5人 重傷者 31人 軽傷者 33人 (2)住家被害 一部破損 9棟 9世帯 23人 床下浸水 12棟 12世帯 48人 (3)非住家被害 公共建物 2棟 その他 24棟 (4)被害箇所 被害船舶 18隻 水道 11戸 パイプハウス 14棟 公園関係 59ヶ所 街路樹 7ヶ所 (5)り災 り災世帯 8世帯 り災者 21人 (6)公共施設被害額 7,866千円 (7)災害対策本部設置市町村 敦賀市、武生市、永平寺町 南条町、今庄町	12日、前線は本州東海上に抜け冬型の気圧配置となって時々雪、山沿い・山間部で強く降る。 13～17日、強い寒気が入って平野部でも連日まとまった降雪となった。 18日、冬型の気圧配置は緩み始め強い寒気は東に抜けて雪の降り方は弱まり平野部は雨が混じった。 19日、日本海北部に進んだ高気圧に穏やかに覆われて日が差した。 20日、本州南岸を低気圧が東進し昼頃から雪または雨が降り出し平野部夜は雨。 21日、弱い冬型の気圧配置となり一時雨のところがあったが、嶺北や嶺南東部では晴れ間が広がった。 22日、大陸から張り出す高気圧に緩やかに覆われて日が差した。 23日、本州南海上の前線を低気圧が東に進んだ後、弱い冬型の気圧配置となり時々雪または雨。
80	2004 (平16) 1.23～27	大雪	(1)人的被害 重傷者 1人 (2)住家被害 一部破損 3棟 3世帯 3人 (3)非住家被害 その他 1棟 (4)被害総額 178千円	日本海北部には動きの遅い発達中の低気圧があり、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。北陸地方上空には強い寒気が流れ込み、22日夜から26日にかけて大雪となった。22日16時20分には大雪警報が発表された。
81	2004 (平16) 2.8～9	大雪	(1)人的被害 重傷者 2人 軽傷者 1人 (2)住家被害 一部破損 13棟 13世帯 19人	強い冬型の気圧配置のため、4日から9日まで雪となった。特に6日から7日夕方にかけて大雪となり、その後も西の風が強い状態が続いた。
82	2004 (平16) 6.21	台風第6号	(1)人的被害 重傷者 1人	台風第6号は21日9時半頃に高知県室戸市付近に上陸し、午後には京都市舞鶴市付近、北陸・東北の沖合を経て、22日3時に津軽海峡の西で温帯低気圧に変わった。福井県では最接近となった21日昼前から夕方にかけて風雨ともに強く、敦賀では6月の日最大週間風速となる39.5m/sを記録した。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
83	2004 (平16) 7.18	福井豪雨 【福井県災害 対策本部設 置】	(1)人的被害 死者 4人 行方不明 1人 重傷者 4人 軽傷者 15人 (2)住家被害 全壊 57棟57世帯188人 半壊 142棟139世帯466人 一部破損212棟211世帯766人 床上浸水 3,323棟3,313世帯10,366人 床下浸水 10,334棟10,324世帯31,573人 (3)非住家被害 公共建物 47棟 その他 829棟 (4)被害箇所 田被害 2,067ha 道路 634ヶ所 橋りょう 18ヶ所 河川 311ヶ所 崖くずれ 185ヶ所 鉄道不通 5ヶ所 (5)り災 り災世帯 3,509世帯 り災者 11,005人 (6)公共施設被害額 9,362,873千円 (7)災害対策本部設置市町村 福井市、武生市、大野市、 鯖江市、美山町、松岡町、 今立町、池田町、清水町	日本海から北陸地方(福井県)に延びる梅雨前線の活動が活発化し、強い雨雲が福井県嶺北地方に流れ込んだ。このため18日0時過ぎから所々で激しい雨を観測し、特に18日明け方から昼前にかけては嶺北北部を中心に1時間に80mm以上の猛烈な雨を観測した。美山町では降り始め(17日15時)からの総降水量は、285mmとなった。この雨で河川の堤防が決壊するなど、各地で大きな被害が発生した。 福井の極値更新状況 日最大風速・風向 14.4m/s西南西(7月として) 日最大瞬間風速・風向 27.3m/s西南西(7月として) 日最大10分間降水量 19.0mm(7月として) 日最大1時間降水量 75.0mm(統計開始以来) 月最大24時間降水量 198.0mm(統計開始以来)
84	2004 (平16) 8.30~31	台風第16号	(1)人的被害 重傷者 1人 (2)住家被害 一部破損 3棟 3世帯 6人 (3)非住家被害 その他 2ヶ所 (4)被害箇所 道路 8ヶ所 (5)被害総額 78,849千円	台風第16号は30日9時半頃鹿児島県に上陸し、中国地方を通過して日本海を北東に進んだ。福井地方には30日23時過ぎから31日1時頃にかけて最接近し、福井で31日0時51分に最大瞬間風速31.4m/sを記録したのをはじめ、県内全域で強い風が吹いた。また、奥越を中心に大雨となった。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
85	2004 (平16) 9. 7	台風第18号	(1)人的被害 重傷者 2人 軽傷者 5人 (2)住家被害 一部破損 2棟 2世帯 4人 (3)非住家被害 その他 4ヶ所 (4)被害総額 44,339千円	台風第18号は大型で強い勢力を保ったまま7日9時半には長崎県に上陸し、その後日本海を北東に進んだ。福井県には夕方から宵の内にかけて最接近し、8日朝には北海道西方沖に達した。
86	2004 (平16) 10. 5	地震	(1)人的被害なし (2)住家被害なし (3)非住家被害 その他 1ヶ所	福井県嶺北地方を震源とする地震 M4.8 深さ12km 北緯 35度55分 東経 136度22分 10月5日午前8時33分 震度4 大野市、池田町 震度3 福井市、武生市、勝山市、美山町、上志比村、和泉村、今立町、南条町、朝日町
87	2004 (平16) 10.20 ～21	台風第23号 【福井県災害 対策本部設置】	(1)人的被害 軽傷者 1人 (2)住家被害 全壊 3棟 3世帯 8人 半壊 10棟 10世帯 35人 一部破損 298棟 232世帯 770人 床上浸水 30棟 30世帯 95人 床下浸水 423棟 358世帯 1,127人 (3)非住家被害 公共建物 63棟 その他 192棟 (4)被害箇所 道路 197ヶ所 河川 123ヶ所 崖くずれ 51ヶ所 鉄道不通 1ヶ所 被害船舶 2隻 (5)り災 り災世帯 42世帯 り災者 136人 (6)公共施設被害額 472,909千円 (7)災害対策本部設置市町村 福井市、武生市、小浜市、大野市、江市、あわら市、美山町、松岡町、三国町、坂井町、今立町、池田町、朝日町、清水町、上中町、名田庄村、高浜町	台風第23号は20日13時頃、高知県土佐清水付近に上陸し、近畿・東海・関東甲信地方を横断し、21日3時頃に銚子沖に進んだ。県内には20日19時頃から21時過ぎにかけて最接近し、県内全域が暴風域に入った。また、通過後も21日明け方にかけて強風となった。

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
88	2005 (平 17) 1. 28 ～ 2. 4	大雪	(1) 人的被害 軽傷 3 人 (2) 住家被害 一部破損 1 棟 (3) 非住家被害なし	1 月 29 日、発達中の低気圧が日本海北部を東進後、冬型の気圧配置となり、2 月 1 日は強い冬型の気圧配置で嶺北中心に大雪となった。その後も冬型の気圧配置が続き、4 日まで断続的な降雪となった。
89	2005 (平 17) 4. 20	暴風	(1) 人的被害 軽傷 1 人 (2) 住家被害なし (3) 非住家被害なし	20 日 09 時には沿海州に中心を持つ発達した低気圧が北東進しており、中心から延びる寒冷前線が九州北部に達していた。また、別の低気圧が日向灘にあり、前線を伴って北東進していた。一方、日本の東海上には高気圧があって日本付近は気圧傾度が大きくなっていった。このため県内では、19 日夜から 20 日夕方にかけて南東から南の風が強く吹いた。 福井で 06 時 17 分に 25.9m/s (南)、敦賀で 07 時 01 分に 32.3m/s (南南東) の最大瞬間風速を観測した。
90	2005 (平 17) 9. 6 ～ 9. 7	台風 14 号	(1) 人的被害 死者 1 名 (2) 住家被害 一部破損 3 棟 1 世帯 8 人 (3) 非住家被害 公共建物 2 棟 その他 2 棟 (4) 被害箇所 学校 10 箇所 停電 30 戸 (5) 公共施設被害額 1,167 千円 (6) 農産被害 22,492 千円 (7) 商工被害 1,400 千円 (8) その他 285 千円	大型で強い台風第 14 号は、6 日 12 時に鹿児島市付近を通過後、14 時頃に長崎県諫早市付近に上陸し、その後再び海上に抜け、19 時には進路を北北東に変えて日本海を進み、7 日昼前には福井県に最接近した。福井県内では台風の北上に伴い、6 日夜遅くから急に南よりの風が強まり、敦賀で 23 時 22 分に最大瞬間風速 35.6m/s (南東) を、また福井で 7 日 09 時 14 分に最大瞬間風速 30.3m/s (南) を観測した。
91	2005 (平 17) 12. 13 ～ 2006 (平 18) 3. 31	平成 18 年豪雪	(1) 人的被害 死者 14 名 重傷 36 人 軽傷 126 人 (2) 住家被害 全壊 1 棟 1 世帯 1 人 半壊 4 棟 3 世帯 4 人 一部破損 390 棟 104 世帯 219 人 (3) 非住家被害 公共建物 6 棟 その他 103 棟 (4) 公共施設被害 482,710 千円 (5) 農産被害 32,973 千円 (6) 林産被害 506,145 千円 (7) 畜産被害 2,400 千円	12 月中旬から続いた断続的な強い寒気の流れ込みにより、強い冬型の気圧配置が 1 月中旬まで続いた。 【12 月】12 日～14 日、強い寒気(氷点下 36℃以下)が福井県上空に流れ込み、強い冬型の気圧配置が持続したため、嶺北全域と嶺南東部を中心に大雪。17 日～18 日、非常に強い寒気(氷点下 40℃以下)が福井県上空に流れ込み、冬型の気圧配置が強まり、山沿い・山間部を中心に大雪。22 日、強い寒気(氷点下 38℃以下)が福井県上空に流れ込み、冬型の気圧配置が強まり、山沿い・山間部や嶺南を中心に 24 日朝にかけて大雪。 【1 月】3 日～8 日、強い寒気(氷点下 36℃以下)が福井県上空に流れ込み、冬型の気圧配置が強まった。7 日は福井で 20cm の日降雪量を観測。22 日～23 日、

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
91			(8)その他 69,111 千円 (9)被害総額 1,093,339 千円 (10)災害対策本部設置市町 永平寺町、池田町	強い寒気（氷点下 38℃以下）が福井の上空に流れ込み、一時冬型の気圧配置が強まった。 各地の最深積雪は、敦賀 73cm(12月23日)、大野市九頭竜 241cm(12月27日)、福井 95cm(1月8日)、大野 162cm(1月10日)、南越前町今庄 174cm(1月8日)、越前市武生 92cm(1月8日)、小浜 43cm(1月8日)。
92	2006 (平 18) 7.18 ～ 7.19	平成 18 年 7 月 豪雨 【福井県災害 対策本部設 置】	(1)人的被害 死者 2 名 (2)住家被害 全壊 3 棟 3 世帯 11 人 半壊 1 棟 1 世帯 6 人 一部破損 5 棟 5 世帯 16 人 床上浸水 3 棟 3 世帯 7 人 床下浸水 196 棟 196 世帯 334 人 (3)非住家被害 その他 1 棟 (4)被害箇所 道路 186 箇所 河川 147 箇所 崖くずれ 49 箇所 電話 8 回線 電気 900 戸 ガス 980 戸 (5)り災 り災世帯 7 世帯 り災者 24 人 (6)公共施設被害 3,371,991 千円 (7)農産被害 10,502 千円 (8)林産被害 560,800 千円 (9)その他 25,800 千円 (10)被害総額 3,969,093 千円 (11)災害対策本部設置市町村 福井市、鯖江市、あわら市、 越前市、坂井市、永平寺町、 越前町	15日から24日にかけて梅雨前線が北陸付近に停滞し活動が活発化したため、大雨となった。特に15日夜から19日明け方にかけて断続的に降り続き、5日間の総降水量は勝山で477㍓に達したほか、嶺北各地で400㍓を超えた。
93	2007 (平 19) 5.10	暴風	(1)人的被害 軽傷 2 人 (2)住家被害 なし (3)非住家被害 公共建物 3 棟 その他 4 棟 (4)公立文教施設被害 12,190 千円 (5)その他公共施設被害 1,095 千円 (6)その他の被害 716 千円 (7)被害総額 14,001 千円	前線を伴った低気圧が、若狭湾から県内を通過し東進した。このため嶺南地方では低気圧通過直後一時的に北よりの暴風となった。  (日最大瞬間風速) 福井 23.3m/s(北北西) 16時11分 敦賀 31.4m/s(北) 16時15分



番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
94	2008 (平20) 7.27	突風	人的被害 死者 1人 重傷 1人 軽傷 10人	日本海の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 このため、積乱雲が発達し、積乱雲通過時に突風が発生した。 突風をもたらした現象はガストフロント、強さは藤田スケールでF0と推定される。 (日最大風速(27日)) 敦賀 16.2m/s(西北西) 12時56分 (日最大瞬間風速(27日)) 敦賀 29.7m/s(西北西) 12時49分
95	2009 (平21) 10.7 ～ 10.8	台風18号	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)住家被害 一部破損2棟 床下浸水1棟 (3)非住家被害 その他1棟 (4)農産被害 16,276千円 (5)その他被害 50千円 (6)被害総額 16,326千円	7日には台風第18号が四国の南海上に進み、8日5時過ぎには知多半島付近に上陸し、その後、東海地方、関東甲信地方、東北地方を進み、同日夕方に太平洋に達した。 7日～8日にかけての降水量は、おおい町名田庄納田で230ミ、小浜市遠敷で126ミを観測した。
96	2009 (平21) 12.17 ～ 2010 (平22) 3.31	大雪	(1)人的被害 死者 1人 重傷 9人 軽傷 21人 (2)住家被害 半壊1棟 一部破損7棟 床上浸水1棟 床下浸水6棟 (3)非住家被害 その他4棟	中旬後半から下旬にかけて強い寒気が日本付近に南下し冬型の気圧配置となった。このため、奥越を中心に大雪となった。 17日～20日にかけての降雪量の合計は嶺北の平野部では30～60cm、大野市九頭竜では164cmとなった。最深積雪は20日に大野市九頭竜で143cmを観測した。
97	2010 (平22) 12.25 ～ 2011 (平23) 3.31	豪雪	(1)人的被害 死者 7人 重傷 22人 軽傷 32人 (2)住家被害 全壊 2棟 半壊 2棟 一部破損 246棟 床上浸水 1棟 床下浸水 6棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 43棟 (4)公共施設被害 33,303千円 (5)農産被害 2,097千円	北日本上空に寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となった。 北陸地方と北日本の日本海側を中心に大雪や猛吹雪の恐れがあるとして、大雪、なだれ、路面凍結、突風、波浪などへの警戒が必要となった。 (日降雪量最大) 福井 30cm1月30日 武生 33cm1月30日 大野 49cm1月26日 九頭竜 44cm12月25日 今庄 66cm1月31日 敦賀 42cm1月31日 小浜 40cm12月31日 (最深積雪最大値) 福井 119cm1月31日 武生 116cm1月31日 大野 187cm1月31日、2月1日 九頭竜 251cm1月30日 今庄 244cm1月31日 敦賀 78cm1月31日 小浜 65cm1月31日

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
98	2011 (平23) 5.29～30	台風 2号	(1)人的被害 なし (2)住家被害 床上浸水 13棟 床下浸水 55棟 (3)非住家被害 公共建物 4棟 その他 2棟 (4)公共施設被害 723,655千円 (5)農産被害 51,705千円	本州南岸に停滞した梅雨前線と台風第2号から変わった低気圧の影響により、嶺南を中心に大雨となり、土砂災害や浸水による被害が発生した。 (日最大1時間降水量(30日)) 小浜34.5ミリ、大飯54.5ミリ (日降水量(30日)) 小浜 167.5ミリ、大飯 218.5ミリ
99	2011 (平23) 7.7	豪雨	(1)人的被害 なし (2)住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 11棟 (3)公共施設被害 12,533千円	梅雨前線が北上。発達した雨雲は次第に東進、夜に北陸で激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(7日)) 福井20.5ミリ、勝山30.5ミリ (日降水量(7日)) 福井 80.5ミリ、勝山 149.5ミリ
100	2011 (平23) 8.19	豪雨	(1)人的被害 なし (2)住家被害 床上浸水 2棟 床下浸水 57棟 (3)非住家被害 その他 8棟 (4)公共施設被害 14,793千円	前線がゆっくり南下。前線上の波動が東進、朝までは北陸西部で非常に激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(19日)) 福井44.5ミリ、勝山33.5ミリ (日降水量(19日)) 福井 84.5ミリ、勝山 57.0ミリ
101	2011 (平23) 12.25 ～ 2012 (平24) 3.31	大雪	(1)人的被害 死者 4人 重傷 12人 軽傷 26人 (2)住家被害 一部破損 26棟 床下浸水 2棟 (3)非住家被害 その他 4棟 (4)農産被害 486千円	平成23年12月後半から平成24年2月初めにかけて、北日本から西日本にかけては低温となり、日本海側を中心に記録的な積雪となった。この期間、シベリア高気圧の勢力が強く、冬型の気圧配置が強まった。 (日降雪量最大) 福井 34cm1月25日 敦賀 23cm1月26日 (最深積雪最大値) 福井 61cm2月4日 敦賀 58cm2月3日 九頭竜 187cm2月9日
102	2012 (平24) 4.3	暴風	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 9人 (2)住家被害 一部破損 23棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 3棟 (4)公共施設被害 9,653千円	前線を伴った低気圧が、日本海を急速に発達しながら東北東に進んだ。この低気圧に吹き込む南寄りの風が強まり、県内では暴風となった。 (日最大風速) 三国 25.8m/s(南南東)13時22分 敦賀 24.0m/s(南南東)12時06分 (日最大瞬間風速) 三国 35.3m/s(南南東)13時36分 敦賀 37.5m/s(南南東)12時04分

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
103	2012 (平24) 7.20~21	豪雨	(1)住家被害 半壊 2棟 一部破損 9棟 床上浸水 57棟 床下浸水 243棟 (2)非住家被害 その他 14棟 (3)公共施設被害 172,920千円 (4)商工被害 126,000千円 (5)災害対策本部設置市町村 越前市	日本の南の太平洋高気圧から、暖かく湿った空気が西日本から北陸地方に流れ込み、また、上空の寒気を伴った気圧の谷の影響で、嶺北を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量(20、21日)) 今立 96.0mm、あわら 95.0mm (日降水量(20、21日)) 今立 189.0mm、あわら 182.0mm
104	2012 (平24) 9.6	豪雨	(1)住家被害 一部破損 1棟 床下浸水 139棟 (2)公共施設被害 5,652千円	前線が日本海を東に進み、前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(6日)) 福井 62.5mm、今庄 61.0mm (日降水量(6日)) 福井 133.5mm、春江 85.0mm
105	2012 (平24) 12.6	暴風	(1)人的被害 重傷 1人 (2)公共施設被害 90,000千円	低気圧が発達しながら日本海を東に進んだため、暴風となった。 (日最大風速) 三国 12.8m/s(西南西)04時12分 越廼 13.6m/s(西)03時51分 (日最大瞬間風速) 三国 24.1m/s(西南西)04時22分 越廼 23.4m/s(西南西)04時47分
106	2013 (平25) 1.6 ~ 2013 (平25) 3.31		(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 1人	天気は周期的に経過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置が続き雪や雨となりました。強い寒気の影響で1月の終わり頃には奥越を中心に大雪となりました。 (日降雪量最大) 福井 22cm1月3日 敦賀 27cm1月26日 (最深積雪最大値) 福井 30cm1月28日 敦賀 41cm1月26日 九頭竜 176cm1月28日
107	2013 (平25) 4.6	暴風	(1)住家被害 一部破損 1棟 (2)公共施設被害 219千円 (3)その他被害 1,330千円	日本海と日本の南岸をそれぞれ低気圧が急速に発達しながら北東に進みましました。 (日最大風速) 敦賀 21.1m/s(南南東)16時44分 (日最大瞬間風速) 敦賀 32.2m/s(南南東)16時59分
108	2013 (平25) 4.13	地震	(1)人的被害 重傷 1人	淡路島付近を震源とする地震 4月13日05時33分 M6.3 深さ15km 北緯 34度25.1分 東経 134度49.7分 震度3 小浜市、高浜町、おおい町

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
109	2013 (平25) 7.7	暴風	(1)住家被害 一部破損 2棟	梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が入り、大気の状態が不安定となり積乱雲が通過中であった。 (日最大風速) 福井 4.6m/s(南南東)21時46分 大野 6.4m/s(北)17時17分 (日最大瞬間風速) 福井 7.8m/s(西南西)16時46分 大野 15.9m/s(北西)17時11分
110	2013 (平25) 7.13	豪雨	(1)住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 9棟	日本海から東北地方にのびる梅雨前線に、南から湿った空気の流れ込んだため、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(13日)) 福井 55.0mm (日降水量(13日)) 福井 69.0mm、勝山 82.0mm
111	2013 (平25) 7.29	豪雨	(1)住家被害 床下浸水 2棟 (2)公共施設被害 162,120千円 (3)災害対策本部設置市町村 越前市	日本海から北陸地方にのびる梅雨前線に、湿った空気の流れ込んだため、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(29日)) 敦賀 27.5mm (日降水量(29日)) 福井 137.5mm、勝山 175.0mm
112	2013 (平25) 8.23	竜巻	(1)人的被害 軽傷 1人 (2)住家被害 半壊 3棟 一部破損 70棟 (3)公共施設被害 134千円	日本海の前線に向かって暖かく湿った気流が入り、大気の状態が非常に不安定となり、小浜では竜巻(F1)と推定される現象が発生した。 (日最大風速) 敦賀 9.8m/s(北)19時10分 小浜 8.7m/s(北西)16時33分 (日最大瞬間風速) 敦賀 13.3m/s(北)19時05分 小浜 17.5m/s(北北西)16時27分
113	2013 (平25) 8.24	豪雨	(1)公共施設被害 29,290千円 (2)災害対策本部設置市町村 越前市	本州付近に停滞する前線の影響で、曇り時々雨となり、嶺北の一部では大雨となった。 (日最大1時間降水量(24日)) 今庄 38.0mm、九頭竜 37.5mm (日降水量(24日)) 今庄 111.0mm、越廼 36.0mm
114	2013 (平25) 8.31	豪雨・暴風	(1)住家被害 一部破損 2棟 (2)公共施設被害 1,216千円	台風第15号から変わった温帯低気圧からのびる寒冷前線が県内を通過した。 (日最大風速) 福井 10.0m/s(西南西)17時22分 勝山 15.4m/s(北西)17時41分 (日最大瞬間風速) 福井 19.9m/s(西北西)17時15分 勝山 29.5m/s(北西)17時34分
115	2013 (平25) 9.3	豪雨	(1)住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 25棟	北陸地方に前線が停滞し南から暖かく湿った空気が入ったため前線の活動が断続的に活発になった。 (日最大1時間降水量) 福井 47.0mm (日降水量) 福井 87.0mm

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
116	2013 (平25) 9.16	台風18号	(1)人的被害 死者 1人 (2)住家被害 全壊 5棟 半壊 2棟 一部破損 13棟 床上浸水 78棟 床下浸水 320棟 (3)非住家被害 その他 19棟 (4)公共施設被害 2,906,000千円 (5)その他被害 75,815千円 (6)災害対策本部設置市町村 敦賀市、小浜市、越前市、 美浜町、おおい町、若狭町	台風第18号が日本の南海上を北上していた。台風の北側に広がる雨雲域が県嶺南を中心にとどまっていた。 05:05に大雨特別警報を発表した。 (日最大1時間降水量) 敦賀25.0㍓、小浜38.5㍓ (24時間降水量) 敦賀215.0㍓、小浜384.0㍓
117	2013 (平25) 10.15	台風26号	(1)その他被害 31千円	台風第26号が本州の南海上を北上したため、雨で大雨となったところがあった。 (日最大1時間降水量(15日)) 九頭竜 16.5mm、大野 8.5mm (日降水量(15日)) 九頭竜 60.0mm、大野 37.0mm
118	2013 (平25) 11.25	暴風	(1)人的被害 軽傷 1人	低気圧が発達しながら日本海中部を北東に進み、低気圧の中心からのびる寒冷前線が25日夕方頃通過した。 (日最大風速) 福井 16.1m/s(南南東)11時57分 三国 18.7m/s(南南東)08時59分 (日最大瞬間風速) 福井 23.9m/s(南東)11時53分 敦賀 28.2m/s(南南東)07時47分
119	2013 (平25) 12.15 ～ 2014 (平26) 3.31	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	12月上旬の終わりころから短い周期で低気圧が通過し、その後冬型の気圧配置となり、1月中旬には強い寒気の影響で気温が低くなった。 (日降雪量最大) 福井 16cm2月8日 敦賀 15cm12月28日 九頭竜 35cm12月12日 大野 25cm2月8日 武生 25cm2月8日 今庄 33cm12月28日 小浜 18cm12月28日 (最深積雪最大値) 福井 17cm1月11日 敦賀 21cm12月29日 九頭竜 101cm2月16日 大野 32cm12月29日 武生 22cm2月8日 今庄 35cm12月29日 小浜 16cm12月29日

番号	年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
120	2014 (平26) 7.17	豪雨・暴風・ 落雷	(1)非住家被害 その他 1棟	梅雨前線に向かって湿った空気が流れ込んだ影響で、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(17日)) 小浜 32.5mm、春江・美浜 14.0mm (日降水量(17日)) 小浜 33.0mm、勝山 24.0mm (日最大風速) 小浜 14.3m/s(ー)14時07分 勝山 7.3m/s(北北西)14時27分 (日最大瞬間風速) 小浜 33.8m/s(ー)14時02分 勝山 11.7m/s(北西)14時22分
121	2014 (平26) 7.20	豪雨	(1)住家被害 床下浸水 1棟	上空に寒気を伴った気圧の谷と湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となった。 (日最大1時間降水量(20日)) 三国 56.5mm、福井 52.5mm (日降水量(20日)) 福井 77.5mm、勝山 71.0mm
122	2014 (平26) 8.9	台風11号	(1)人的被害 軽傷 1人 (2)住家被害 一部破損 1棟	台風第11号は、日本の南から四国の南に進み、北日本から西日本にのびる前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響により、県内の所々で大雨となった。 (日最大1時間降水量(9日)) 大飯 18.0mm、越廼 11.5mm (日降水量(9日)) 大飯 102.0mm、美浜 71.5mm
123	2014 (平26) 8.15	豪雨	(1)住家被害 床下浸水 1棟	北陸地方に停滞する前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込み、雨で雷を伴い、大雨となった。 (日最大1時間降水量(15日)) 春江 33.5mm、越廼 30.5mm (日降水量(15日)) 越廼 83.5mm、勝山 75.0mm
124	2014 (平26) 12.5	暴風・波浪	(1)住家被害 一部破損 1棟	上空に寒気を伴った気圧の谷が通過し、冬型の気圧配置が強まり大気の状態が不安定となった。 (日最大風速) 越廼 11.6m/s(西)07時01分 敦賀 11.4m/s(西)16時20分 (日最大瞬間風速) 三国 20.7m/s(西)10時52分 越廼 20.2m/s(西南西)06時07分

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
125	2014 (平26) 12.7 ～ 2015 (平27) 3.31	大雪	(1)人的被害 死者 1人 重傷 3人 軽傷 4人 (2)非住家被害 その他 1棟	12月は冬型の気圧配置や寒気を伴った気圧の谷の影響で、雪や雨の日が多く、気温はかなり低くなった。1月、2月は上旬に冬型の気圧配置が強まり大雪となった。 (日降雪量最大) 福井 32cm1月1日 敦賀 34cm2月9日 九頭竜 65cm12月22日 大野 42cm12月22日 武生 33cm1月2日 今庄 51cm1月1日 小浜 38cm1月1日 (最深積雪最大値) 福井 56cm1月2日 敦賀 64cm2月10日 九頭竜 227cm2月14日 大野 115cm1月3日 武生 50cm1月3日 今庄 113cm1月3日 小浜 44cm1月2日
126	2015 (平27) 1.11	暴風	(1)住家被害 一部破損 42棟 (2)非住家被害 公共建物 2棟 その他 5棟 (3)その他被害 28,917千円	日本付近は強い冬型の気圧配置となり、福井県では、寒気を伴った上空の気圧の谷の影響で、大気の状態が非常に不安定となった。 坂井市からあわら市にかけて、竜巻(F0)と推定される現象が発生した。 (日最大風速) 敦賀 15.4m/s(北北西) 春江 13.0m/s(北) (日最大瞬間風速) 三国 21.9m/s(西北西) 敦賀 21.0m/s(北北西)
127	2015 (平27) 8.25	暴風	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)その他の公共施設被害 216千円	強い台風第15号は九州に上陸した後、北に進み日本海に抜けたため、強い風を観測したところがあった。 (日最大風速) 敦賀 20.4m/s(南東)17時49分 三国 16.0m/s(南南東)20時00分 (日最大瞬間風速) 敦賀 30.7m/s(南東)18時26分 小浜 30.6m/s(東南東)17時01分

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
128	2015 (平27) 12.17 ～ 2016 (平28) 2.29	大雪	(1)人的被害 軽傷 4人	12月は低気圧の通過や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多く、1月24日から25日にかけて嶺北中心に、2月中頃は嶺南中心に一時的に冬型の気圧配置が強まって大雪となった。 (日降雪量最大) 福井 36cm1月24日 敦賀 21cm2月16日 九頭竜 35cm1月19日 大野 34cm1月24日 武生 26cm1月25日 今庄 50cm1月25日 小浜 15cm2月16日 (最深積雪最大値) 福井 47cm1月26日 敦賀 21cm2月16日 九頭竜 87cm1月25日 大野 57cm1月25日 武生 39cm1月25日 今庄 59cm1月25日 小浜 27cm2月16日
129	2016 (平28) 4.17	暴風	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)その他被害 15,075千円	華中で前線に発生した低気圧が、発達しながら北東に進み、17日未明には朝鮮半島に、その後も発達しながら日本海を北東に進み17日夜には北海道西海上に進んだ。この低気圧の影響で福井県内では、16日夜から風が強まり、17日昼過ぎにかけて非常に強い風を観測した所があった。 (日最大風速(17日)) 三国 21.2m/s(南)10時35分 敦賀 20.0m/s(南南東)06時41分 (日最大瞬間風速(17日)) 敦賀 32.9m/s(南南東)08時08分 三国 30.1m/s(南)11時13分
130	2016 (平28) 5.3	暴風	(1)人的被害 重傷 2人 軽傷 3人 (2)住家被害 一部破損 10棟 (3)非住家被害 その他 3棟 (4)農林水産業施設被害 15,000千円 (5)その他の公共施設被害 854千円 (6)その他被害 6,800千円	黄河下流で発生した低気圧は、ボツ海から黄海付近を通過し、中国東北区を進んだ3日昼頃にかけて急速に発達し、その後は東北東進した。この低気圧からのびる寒冷前線が、3日夜から4日未明にかけて北陸地方を通過した影響で、福井県内では、3日未明から風が強まり、夜遅くかけて非常に強い風を観測した所があった。 (日最大風速(3日)) 敦賀 22.9m/s(南南東)20時15分 三国 21.7m/s(南南東)22時05分 (日最大瞬間風速(3日)) 敦賀 35.8m/s(南東)11時17分 三国 31.6m/s(南)21時57分



番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
131	2016 (平28) 6.25	大雨	(1)農林水産業施設被害 9,757千円	前線を伴った低気圧が日本海を北東進した影響で、嶺北を中心に大雨となり強い雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(26日)) 三国 42.0mm 5時33分
132	2016 (平28) 9.20	台風16号	(1)住家被害 床上浸水 1棟 一部破損 1棟 (2)公共土木施設被害 224,135千円 (3)その他被害 1,136千円 (4)災害対策本部設置市町村 敦賀市、池田町	台風16号が、太平洋沿岸を北東進した影響で、福井県では、19日から20日にかけて雨が降り、強い雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(20日)) 敦賀 33.5mm 14時46分 九頭竜 28.5mm 16時11分 小浜 28.5mm 13時24分 (日降水量(20日)) 九頭竜 117.0mm、大飯 109.5mm
133	2016 (平28) 10.5	台風18号	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)その他被害 300千円	台風18号が、対馬海峡から山陰沖を通過し能登半島沖に進んだ影響で、福井県では、5日昼前から風が強まり、5日夜遅くにかけて強い風を観測した所があった。 (日最大風速(5日)) 敦賀 16.0m/s(南南東)16時10分 三国 18.4m/s(南)19時31分 (日最大瞬間風速) 三国 26.4m/s(南)19時25分 敦賀 25.3m/s(南)15時52分
134	2016 (平28) 12.1 ～ 2017 (平29) 2.28	大雪	(1)人的被害 重傷 2人 軽傷 9人 (2)住家被害 一部破損 29棟 (3)非住家被害 その他 4棟	12月の中旬以降は、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で、雨や曇りの日が多く、1月の中旬、下旬は寒気を伴った低気圧や非常に強い冬型の気圧配置の影響で暴風や大雪となり、2月は9日から11日にかけて強い冬型の気圧配置となったため、嶺南を中心に大雪となった。 (日降雪量最大値) 福井 25cm2月10日 敦賀 42cm2月11日 九頭竜 48cm1月13日 大野 31cm1月13日 武生 24cm2月10日 今庄 29cm2月11日 小浜 81cm2月10日 (最深積雪最大値) 福井 28cm2月11日 敦賀 58cm2月11日 九頭竜 138cm2月12日 大野 62cm2月12日 武生 28cm2月11日 今庄 72cm2月12日 小浜 80cm2月11日

番号	年月日	種類	被害状況	気象状況
135	2017 (平29) 1.20~21	暴風	(1)住家被害 一部破損 9棟	<p>20日夜から21日はじめにかけて、低気圧が日本海から北陸付近を南東に進み、上空に非常に強い寒気が流れ込んだ影響で、福井県内では20日夜遅くから21日未明にかけて、急速に風が強まり、風速が20m/s以上の暴風が吹いた所があった。</p> <p>(日最大風速(20日))</p> <p>敦賀 21.4m/s(北西)23時25分  三国 21.3m/s(北北西)23時43分  (日最大瞬間風速(20日))</p> <p>三国 32.9m/s(北北西)23時34分  小浜 32.4m/s(西北西)22時45分</p>